

# だれでもできる 出来形展開図作成 擁壁数量展開図 2

第5章 座標ヘロンデータの入力 ～ 第9章 補足集

## 目 次

□ はじめに		□ 第7章 『修飾CAD』で図面作成	
基本操作マニュアルの流れ	3	『修飾CAD』の起動	31
□ 第5章 座標ヘロンデータの入力		展開図の取り込み	33
座標データの登録	7	タイトル枠の取り込み	40
書類の新規作成と各種設定	9	図面タイトルの描画	42
実測値・設計値データの入力	12	図面の保存	46
座標ヘロンデータ入力の終了	15	□ 第8章 『擁壁数量展開図』の入力	
□ 第6章 擁壁データの入力		『擁壁数量展開図』の起動	48
書類の新規作成と各種設定	17	断面形状の入力	49
設計値データの入力	20	面積の入力	50
実測値データの入力	27	保存	53
擁壁データ入力の終了	29	印刷	54
		□ 第9章 補足集 こんなときは	
		接続する辺を変更する場合	57
		座標を一つずつ選択して作成する場合	59
		図面（展開図パーツ）を微調整する場合	60

## 本書で使用しているマーク



### 注意

してはいけないことや注意していただきたいことです。  
よく読み注意を守ってください。  
場合によっては、作成したデータの消失などの可能性があります。



### こんなときは

困ったときの操作や説明のヒントが書かれています。



### ポイント

大事なことや操作のヒントが書かれています。

## ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万が一不審な点・誤り・記載漏れなどお気づきのことがございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

## 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows ロゴ、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。  
その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

# はじめに

本書「出来形展開図作成／擁壁数量展開図 基本操作マニュアル」の流れについて説明します。

# 基本操作マニュアルの流れ

本書「出来形展開図作成/擁壁数量展開図 基本操作マニュアル」の流れを説明します。

## 基本操作マニュアル 1

※別冊「基本操作マニュアル 1」をご確認ください

### 第 1 現場の新規作成

現場の新規作成

新規に現場を作成します。

### 第 2 混合データの入力

書類の新規作成と各種設定

新規に書類を作成し、データ入力前に各種設定をします。

実測値データの入力

実測値を入力します。

展開図の分割

入力したデータを分割します。

控除する面積データの入力

控除する面積データを入力します。

設計値データの入力

実測値をコピーして、設計値を入力します。

混合データ入力の終了

混合データの入力を終了します。

### 第 3 平積データの入力

書類の新規作成と各種設定

新規に書類を作成し、データ入力前に各種設定をします。

実測値データの入力

実測値を入力します。

控除する面積・設計値データ  
の入力

控除する面積・設計値データを入力します。

平積データ入力の終了

平積データの入力を終了します。

## 第4 ヘロン・三斜データの入力

書類の新規作成と各種設定

実測値・設計値データの入力

ヘロン・三斜データ入力の終了

新規に書類を作成し、データ入力前に各種設定をします。

実測値・設計値データを入力します。

ヘロン・三斜データの入力を終了します。

## 基本操作マニュアル2

## 第5 座標ヘロンデータの 入力

座標データの登録

書類の新規作成と各種設定

実測値・設計値データの入力

座標ヘロンデータ入力の終了

座標データを登録します。

7 ページ

新規に書類を作成し、データ入力前に各種設定をします。

9 ページ

実測値・設計値データを入力します。

12 ページ

座標ヘロンデータの入力を終了します。

15 ページ

## 第6 擁壁データの入力

書類の新規作成と各種設定

設計値データの入力

実測値データの入力

擁壁データ入力の終了

新規に書類を作成し、データ入力前に各種設定をします。

17 ページ

設計値データを入力します。

20 ページ

実測値データを入力します。

27 ページ

擁壁データの入力を終了します。

29 ページ

## 第7章 『修飾CAD』で 図面作成

『修飾CAD』の起動

『修飾CAD』を起動します。

31 ページ

展開図の取り込み

データ入力で作成した展開図を取り込みます。

33 ページ

タイトル枠の取り込み

タイトル枠を図面に取り込みます。

40 ページ

図面タイトルの描画

図面タイトルを描画します。

42 ページ

図面の保存

作成した図面を保存します。

46 ページ

## 第8 『擁壁数量展開図』 の入力

『擁壁数量展開図』の起動

新規に工事を作成し、『擁壁数量展開図』を起動します。

48 ページ

断面形状の入力

現場の形状に合わせて、パラメータの変更をします。

49 ページ

面積の入力

展開図を入力します。

50 ページ

保存

作成したデータを保存します。

53 ページ

印刷

作成した各帳票を印刷します。

54 ページ

## 第9章 補足集 💡 こんなときは

第4章 ヘロン・  
三斜データの入力

接続する辺を変更する場合

57 ページ

第5章 座標ヘロンデータの入力

座標を一つずつ選択して作成する場合

59 ページ

第7章 『修飾CAD』で  
図面作成

図面（展開図パーツ）を微調整する場合

60 ページ

## 第5章

# 座標へロンデータの入力

座標データを取り込み、取り込んだ座標から座標へロンデータを入力し、図面および計算書を作成する方法を説明します。

---

5-1	座標データの登録	7
5-2	書類の新規作成と各種設定	9
5-3	実測値・設計値データの入力	12
5-4	座標へロンデータ入力の終了	15

## 5-1 座標データの登録

座標ヘロンデータの入力で使用する座標データを登録します。

### 座標データを登録します

- 1) 出来形展開図作成画面の「座標入力」ボタンをクリックします。



① クリック

「座標入力」ボタン

- 2) XYH 座標入力画面が表示されます。

「取込」ボタンをクリックし、「SIMA ファイル取込」を選択します。



② 選択

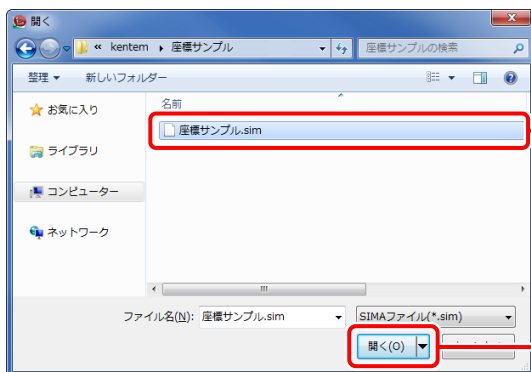
「SIMA ファイル取込」

- 3) 開く画面が表示されます。

取り込むファイルを選択し、座標データを取り込みます。

※基本操作マニュアルでは、サンプルデータの座標を使用します。

座標データは、「Kentem」フォルダ内の「座標サンプル」フォルダに保存されています。



③ 選択

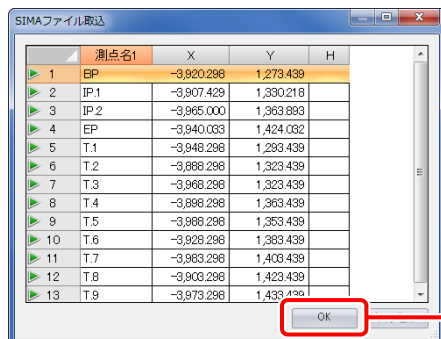
「座標サンプル.sim」

④ クリック

「開く」ボタン



4) SIMA ファイル取込画面が表示されます。



⑤ クリック

[OK] ボタン

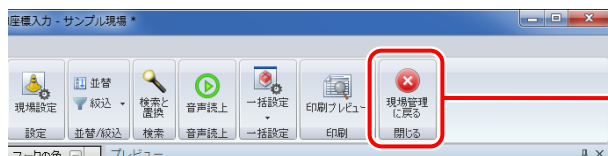
5) 情報メッセージが表示されます。



⑥ クリック

[OK] ボタン

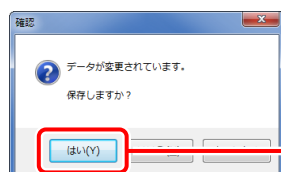
6) XYH 座標入力画面が表示されます。



⑦ クリック

[現場管理に戻る] ボタン

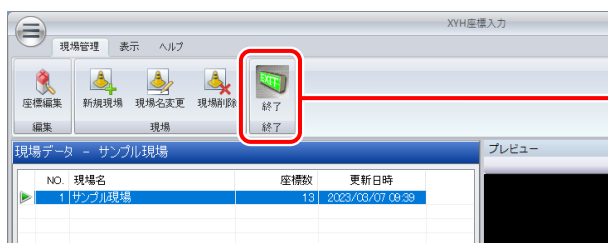
7) 確認メッセージが表示されます。



⑧ クリック

[はい] ボタン

8) 現場管理画面が表示されます。



⑨ クリック

[終了] ボタン

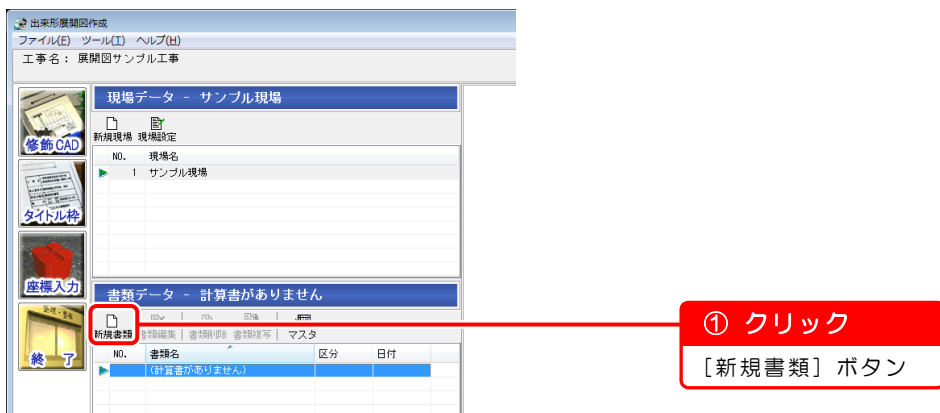
9) 出来形展開図作成画面が表示されます。

## 5-2 書類の新規作成と各種設定

新規に書類を作成し、データを入力する前に各種設定をします。

### 1 新規に書類を作成します

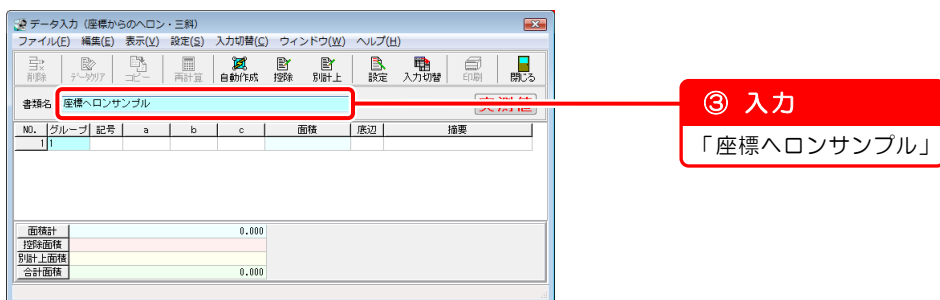
1) 出来形展開図作成画面の[新規書類]ボタンをクリックします。



2) 計算書選択画面が表示されます。  
座標ヘロンの計算書を作成します。

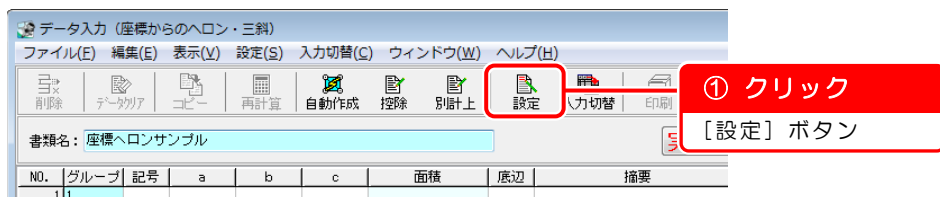


3) データ入力（座標からのヘロン・三斜）画面が表示されます。  
[書類名] 欄に書類名を入力します。



## 2 データを入力する前に各種設定をします

1) 計算書の描画設定をします。



2) 計算書描画設定（座標からのヘロン・三斜）画面が表示されます。

※基本操作マニュアルでは、設定を変更せずに進みます。

設定を変更している場合は、以下の画面のとおりに設定し直してください。

### [計算書設定] タブ



## 「工種グループ設定」タブ

計算書画面設定 (座標からのヘロン・三料)

座標からのヘロン・三料計算書画面設定を行います。

計算書設定 工種グループ設定

NO.	工種グループ名	塗り色	パターン	マーク	マークの色	摘要
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

※ドラッグ及び Ctrl・Shift との組み合わせで複数行選択可能です。  
 ※マーク、マークの色(塗り)パターン作成時のみ反映します。

OK キャンセル

② クリック

「工種グループ設定」タブ

③ クリック

「OK」ボタン

他の計算書で工種グループを設定している場合

すでに工種グループ名などが設定されています。

「座標ヘロンデータの入力」では、工種グループ設定は使用しません。

そのままお進みください。

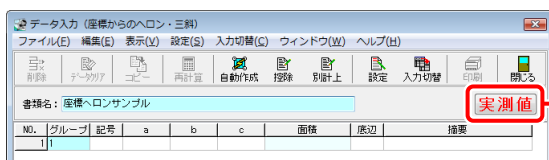
### 5-3 実測値・設計値データの入力

実測値・設計値データを入力します。

#### 1 実測値データを入力する前に設定を確認します

入力モードが実測値モードに設定されているか確認します。

※入力モードが「設計値」と表示されている場合は、「設計値」をクリックし、「実測値」に切り替えてください。

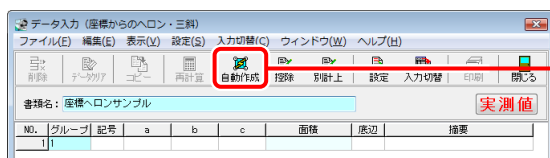


確認

「実測値」

#### 2 登録した座標データを自動的に接続し、実測値データを入力します

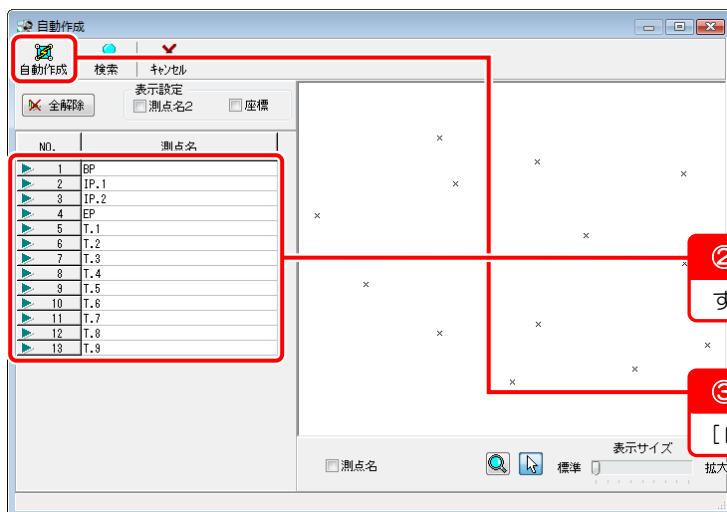
1) [自動作成] ボタンをクリックします。



① クリック

[自動作成] ボタン

2) 自動作成画面が表示されます。  
すべての測点を接続します。



② 確認

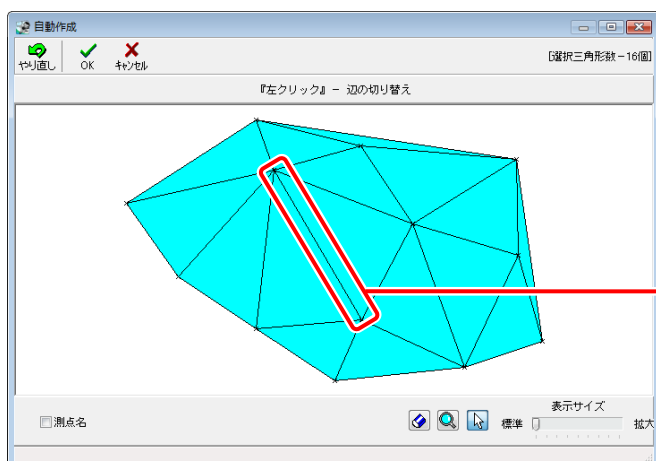
すべての測点が選択

③ クリック

[自動作成] ボタン

3) 座標が自動で接続されました。

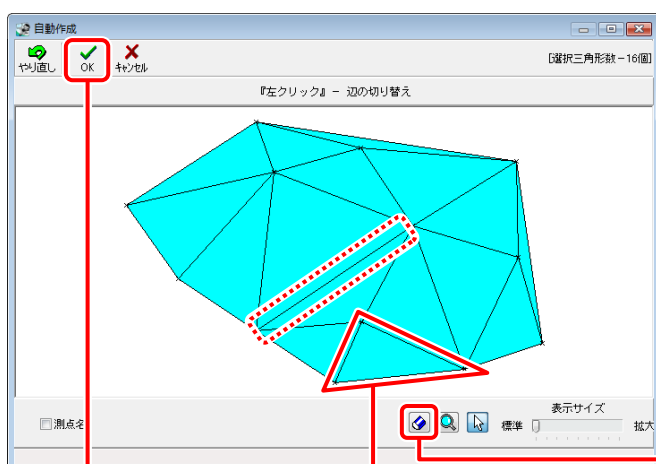
接続する辺を切り替えます。



④ クリック

4) 接続する辺が切り替わります。

不要な接続を削除します。



⑤ クリック

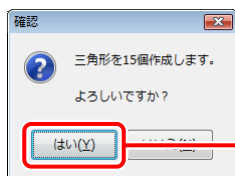
ボタン

⑥ クリック

⑦ クリック

[OK] ボタン

5) 確認メッセージが表示されます。



⑧ クリック

[はい] ボタン

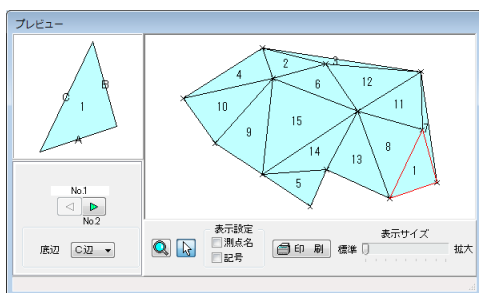
6) データ入力(座標からのヘロン・三斜)画面が表示されます。

※計算書描画設定で「計算で求めた辺長を実測値として使う」が選択されているため、実測値データが作成されます。

NO.	グループ	記号	a	b	c	面積	底辺	描画
1	1		31,829	34,570	47,918	549,022	C	
2	1		34,453	41,231	29,297	349,729	B	
3	1		60,208	101,119	41,291	199,811	B	
4	1		58,219	20,297	59,369	586,750	C	
5	1		36,056	25,536	40,588	454,015	C	
6	1		57,166	36,056	34,453	589,640	A	

面積計	10899.694
控除面積	
別計上面積	
合計面積	10899.694



**こんなときは**

⇒「座標を一つずつ選択して作成する場合」(59 ページ)

### 3 控除するデータと設計値データを入力します

控除する面積データ・設計値データの inputs は、別冊基本操作マニュアル1「第2章 混合データの入力」と同様です。

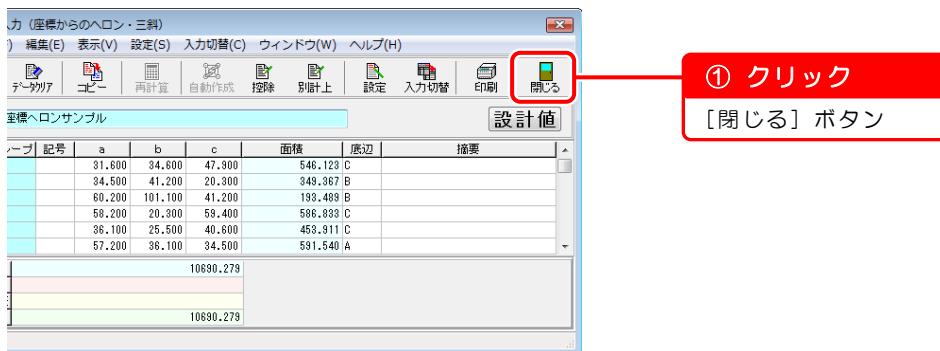
控除する面積データの inputs ⇒「2-4 控除する面積データの inputs」  
(別冊「基本操作マニュアル1」24 ページ)  
設計値データの inputs ⇒「2-5 設計値データの inputs」  
(別冊「基本操作マニュアル1」27 ページ)

## 5-4 座標ヘロンデータ入力の終了

座標ヘロンデータの入力を終了します。

### データ入力（座標からのヘロン・三斜）画面を終了します

1) データ入力（座標からのヘロン・三斜）画面を閉じます。



2) 確認メッセージが表示されます。



データ入力（座標からのヘロン・三斜）画面が終了し、出来形展開図作成画面が表示されます。

以上で「第5章 座標ヘロンデータの入力」は終了です。

引き続き「第7章 『修飾 CAD』で図面作成（30 ページ）」にお進みください。

オプションソフト『A納図 [A-NOTE]』で図面を作成する場合は、『A納図 [A-NOTE]』のヘルプをご覧ください。



## 第6章

# 擁壁データの入力

擁壁データを入力し、図面および計算書を作成する方法を説明します。

---

6-1	書類の新規作成と各種設定 . . . . .	17
6-2	設計値データの入力 . . . . .	20
6-3	実測値データの入力 . . . . .	27
6-4	擁壁データ入力の終了 . . . . .	29

## 第6章 擁壁データの入力

### 6-1 書類の新規作成と各種設定

新規に書類を作成し、データを入力する前に各種設定をします。

#### 1 新規に書類を作成します

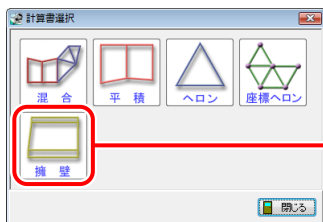
1) 出来形展開図作成画面の「新規書類」ボタンをクリックします。



① クリック

「新規書類」ボタン

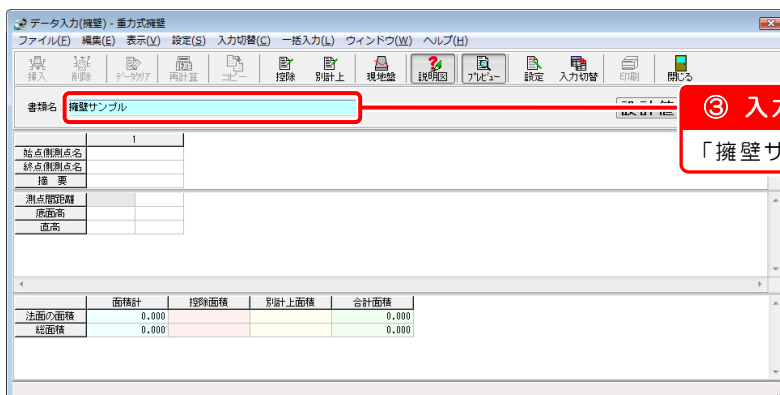
2) 計算書選択画面が表示されます。  
擁壁の計算書を作成します。



② クリック

「擁壁」ボタン

3) データ入力（擁壁）画面が表示されます。  
「書類名」欄に書類名を入力します。

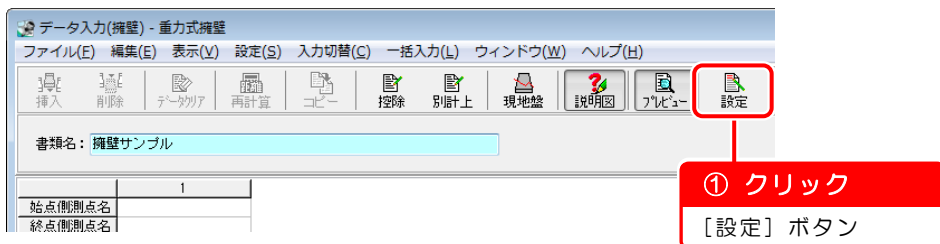


③ 入力

「擁壁サンプル」

## 2 データを入力する前に各種設定をします

1) 計算書の描画設定をします。

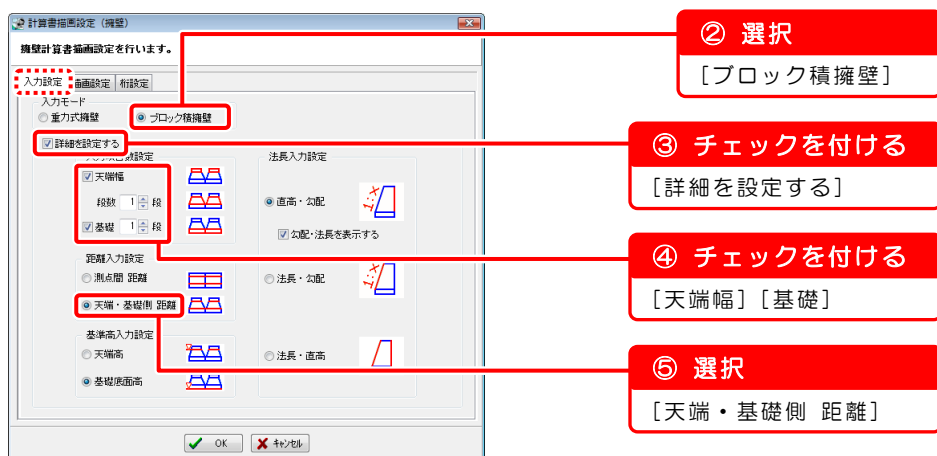


2) 計算書描画設定（擁壁）画面が表示されます。

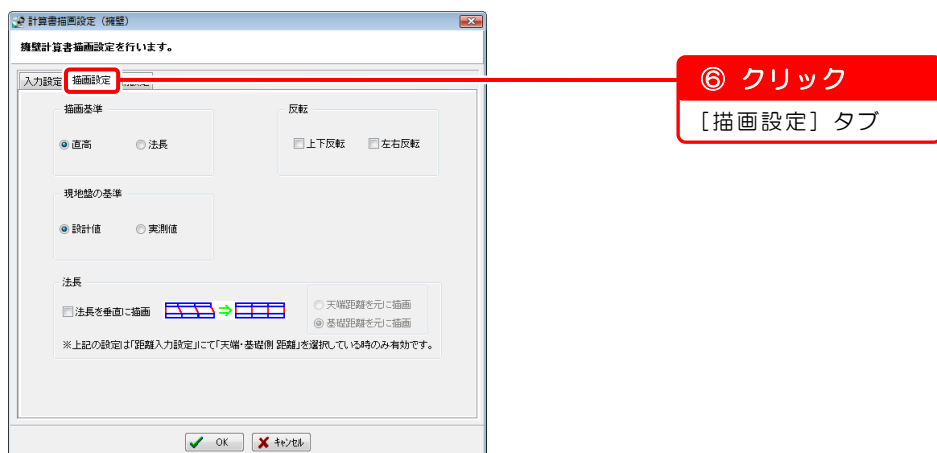
※基本操作マニュアルでは、[入力設定] タブのみ変更します。

設定を変更している場合は、以下の画面のとおり設定し直してください。

### [入力設定] タブ



### [描画設定] タブ



## [桁設定] タブ

⑦ クリック

[桁設定] タブ

⑧ クリック

[OK] ボタン

3) 確認メッセージが表示されます。

⑨ クリック

[はい] ボタン

## 第6章 擁壁データの入力

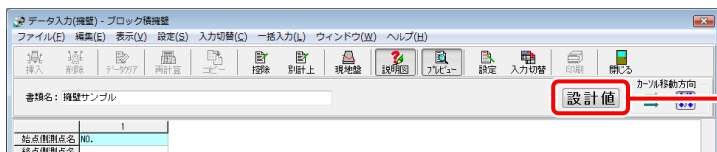
### 6-2 設計値データの入力

設計値データを入力します。

#### 1 設計値データを入力する前に設定を確認します

入力モードが設計値モードに設定されているか確認します。

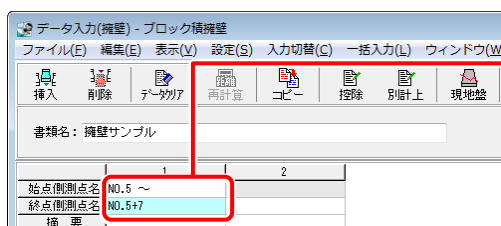
※入力モードが「実測値」と表示されている場合は、「実測値」をクリックし、「設計値」に切り替えてください。



#### 2 「NO.1」の列の設計値データを入力します

1) [始点側測点名] [終点側測点名] 欄に以下のデータを入力します。

※各欄を選択すると「NO.」が自動で表示され、[始点側測点名] 欄に数値を入力すると「～」が自動で表示されます。



① 入力

下表のデータ

始点側測点名	NO.5～
終点側測点名	NO.5+7

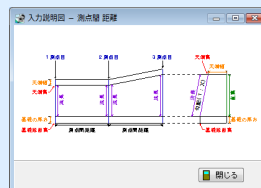
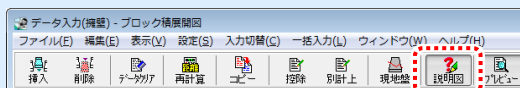


#### ポイント

入力説明図機能を使用すると、測点間距離などの説明を確認しながら入力することができます。

入力説明図を表示する場合は、[説明図] ボタンをクリックします。

※初期設定では、すでに表示されています。



2) [天端側距離] 欄に表示された数値を変更します。

	1	2
始点側測点名	NO.5 ~	
終点側測点名	NO.5+7	
摘要		
天端側距離	6.700	
基礎側距離	7.000	
天端側開き幅		
基礎側開き幅		
基礎底面高		
天端幅		
直高		
勾配		
法長		
基礎1の厚み		

② 入力

「6.7」

3) [基礎底面高] 欄に以下の数値を入力します。

	1	2
始点側測点名	NO.5 ~	
終点側測点名	NO.5+7	
摘要		
天端側距離	6.700	
基礎側距離	7.000	
天端側開き幅		
基礎側開き幅		
基礎底面高	125.000	124.500
天端幅		
直高		
勾配		
法長		
基礎1の厚み		

③ 入力

「125」

④ 入力

「124.5」

4) [天端幅] 欄に以下の数値を入力します。

	1	2
始点側測点名	NO.5 ~	
終点側測点名	NO.5+7	
摘要		
天端側距離	6.700	
基礎側距離	7.000	
天端側開き幅		
基礎側開き幅		
基礎底面高	125.000	124.500
天端幅	0.500	0.500
直高		
勾配		
法長		
基礎1の厚み		

⑤ 入力

「0.5」

5) [直高] 欄に以下の数値を入力します。

	1	2
始点側測点名	NO.5 ~	
終点側測点名	NO.5+7	
摘要		
天端側距離	6.700	
基礎側距離	7.000	
天端側開き幅		
基礎側開き幅		
基礎底面高	125.000	124.500
天端幅	0.500	0.500
直高	3.000	5.000
勾配		
法長	3.000	5.000
基礎1の厚み		

⑥ 入力

「3」

⑦ 入力

「5」

6) [勾配] 欄に以下の数値を入力します。

※「0.5」と入力すると、自動的に「1:0.500」と表示されます。

	1	2
始点側測点名	NO.5 ~	
終点側測点名	NO.5+7	
摘要		
天端側距離		6.700
基礎側距離		7.000
天端側開き幅		
基礎側開き幅		
基礎底面高	125.000	124.500
天端幅	0.500	0.500
直高	3.000	5.000
勾配	1:0.500	1:0.500
法長	3.354	5.390
基礎1の厚み		

㊸ 入力

「0.5」

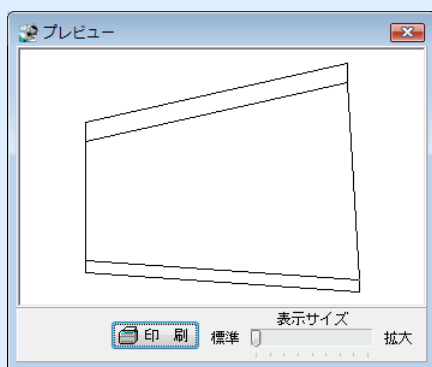
7) [基礎 1 の厚み] 欄に以下の数値を入力します。

	1	2
始点側測点名	NO.5 ~	
終点側測点名	NO.5+7	
摘要		
天端側距離		6.700
基礎側距離		7.000
天端側開き幅		
基礎側開き幅		
基礎底面高	125.000	124.500
天端幅	0.500	0.500
直高	3.000	5.000
勾配	1:0.500	1:0.500
法長	3.354	5.390
基礎1の厚み	0.300	0.300

㊸ 入力

「0.3」

1) ~ 7) までの入力をする、と、プレビュー画面はこのようなになります。



※プレビュー画面が表示されない場合は、データ入力（擁壁）画面の上側にある「プレビュー」ボタンをクリックします。

### 3 「NO.2」の列の設計値データを入力します

以下のデータを入力します。

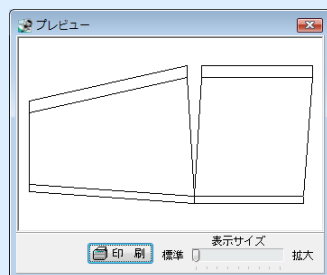
NO.	2	
始点側測点名	NO.5+7～	
終点側測点名	NO.5+12	
摘要		
天端側距離		4.7
基礎側距離		4.6
天端側開き幅	0.6	
基礎側開き幅		
基礎底面高	124.5	124.5
天端幅	0.5	0.5
直高	5	5
勾配	0.5 (1 : 0.500)	0.5 (1 : 0.500)
法長	5.590	5.590
基礎1の厚み	0.3	0.3

入力後、データ入力（擁壁）画面・プレビュー画面はこのようになります

	1	2	3
始点側測点名	NO.5 ～	NO.5+7 ～	
終点側測点名	NO.5+7	NO.5+12	
摘要			
天端側距離	6.700	4.700	
基礎側距離	7.000	4.600	
天端側開き幅		0.600	
基礎側開き幅			
基礎底面高	125.000	124.500	124.500
天端幅	0.500	0.500	0.500
直高	3.000	5.000	5.000
勾配	1:0.500	1:0.500	1:0.500
法長	3.354	5.590	5.590
基礎1の厚み	0.300	0.300	0.300

	面積計	控除面積	別計上面積	合計面積
天端幅面積	5.700			5.700
法面の面積	58.627			58.627
基礎1の面積	3.480			3.480
総面積	65.807			65.807





#### 4 「NO.3」の列の設計値データを入力します

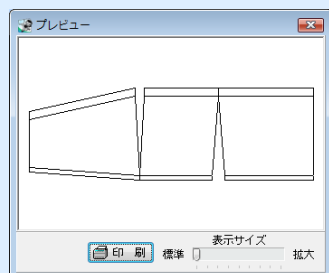
以下のデータを入力します。

NO.	3	
始点側測点名	NO.5+12～	
終点側測点名	NO.5+18	
摘要		
天端側距離		6
基礎側距離		5.6
天端側開き幅		
基礎側開き幅	0.8	
基礎底面高	124.5	124.5
天端幅	0.5	0.5
直高	5	5
勾配	0.5 (1 : 0.500)	0.5 (1 : 0.500)
法長	5.590	5.590
基礎1の厚み	0.3	0.3

入力後、データ入力（擁壁）画面・プレビュー画面はこのようになります

	1		2		3		
始点側測点名	NO.5 ～		NO.5+7 ～		NO.5+12 ～		
終点側測点名	NO.5+7		NO.5+12		NO.5+18		
摘 要							
天端側距離		6.700		4.700		6.000	
基礎側距離		7.000		4.600		5.600	
天端側開き幅			0.600				
基礎側開き幅					0.800		
基礎底面高	125.000	124.500	124.500	124.500	124.500	124.500	
天端幅	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	
直高	3.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	
勾配	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500	
法長	3.354	5.590	5.590	5.590	5.590	5.590	
基礎1の厚み	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	

	面積計	控除面積	別計上面積	合計面積
天端幅面積	8.700			8.700
法面の面積	89.049			89.049
基礎1の面積	5.160			5.160
総面積	102.909			102.909



## 5 「NO.4」の列の設計値データを入力します

以下のデータを入力します。

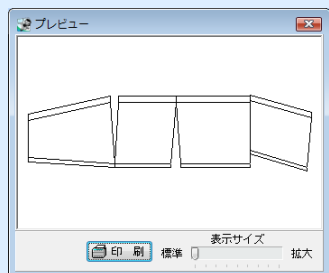
NO.	4	
始点側測点名	NO.5+18～	
終点側測点名	NO.6+3	
摘要		
天端側距離		5
基礎側距離		4.6
天端側開き幅		
基礎側開き幅		
基礎底面高	125.6	124.2
天端幅	0.5	0.5
直高	4	4
勾配	0.5 (1 : 0.500)	0.5 (1 : 0.500)
法長	4.472	4.472
基礎1の厚み	0.3	0.3

入力後、データ入力（擁壁）画面・プレビュー画面はこのようになります

項目	1	2	3	4
始点側測点名	NO.5 ~	NO.5+7 ~	NO.5+12 ~	NO.5+18 ~
終点側測点名	NO.5+7	NO.5+12	NO.5+18	NO.6+3
摘要				
天端側距離		6.700	4.700	6.000
基礎側距離		7.000	4.600	5.600
天端側開き幅		0.600		
基礎側開き幅			0.800	
基礎底面高	125.000	124.500	124.500	124.500
天端幅	0.500	0.500	0.500	0.500
直高	3.000	5.000	5.000	5.000
勾配	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500
法長	3.354	5.590	5.590	5.590
基礎1の厚み	0.300	0.300	0.300	0.300

	面積計	控除面積	別計上面積	合計面積
天端幅面積	11.200			11.200
法面の面積	110.515			110.515
基礎1の面積	6.540			6.540
総面積	128.255			128.255



## 6 「NO.5」の列の設計値データを入力します

以下のデータを入力します。

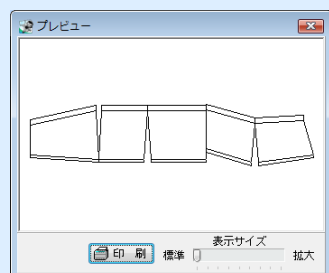
NO.	5	
始点側測点名	NO.6+3~	
終点側測点名	NO.6+9	
摘要		
天端側距離		5
基礎側距離		5.6
天端側開き幅		
基礎側開き幅	0.8	
基礎底面高	124.2	125
天端幅	0.5	0.5
直高	4	3.5
勾配	0.5 (1 : 0.500)	0.5 (1 : 0.500)
法長	4.472	3.913
基礎1の厚み	0.3	0.3

入力後、データ入力（擁壁）画面・プレビュー画面はこのようになります

す	1		2		3		4		5	
始点側測点名	NO.5 ~		NO.5+7 ~		NO.5+12 ~		NO.5+18 ~		NO.6+3 ~	
終点側測点名	NO.5+7		NO.5+12		NO.5+18		NO.6+3		NO.6+9	
摘要										
天端側距離		6.700		4.700		6.000		5.00		5.000
基礎側距離		7.000		4.600		5.600		4.60		5.600
天端側開き幅			0.600							
基礎側開き幅				0.800					0.800	
基礎底面高	125.000	124.500	124.500	124.500	124.500	124.500	125.600	124.20	124.200	125.000
天端幅	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.50	0.500	0.500
直高	3.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	4.000	4.00	4.000	3.500
勾配	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.500	1:0.50	1:0.500	1:0.500
法長	3.354	5.590	5.590	5.590	5.590	5.590	4.472	4.47	4.472	3.913
基礎1の厚み	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300	0.30	0.300	0.300

	面積計	控除面積	別計上面積	合計面積
天端幅面積	13.700			13.700
法面の面積	132.735			132.735
基礎1の面積	8.220			8.220
総面積	154.655			154.655

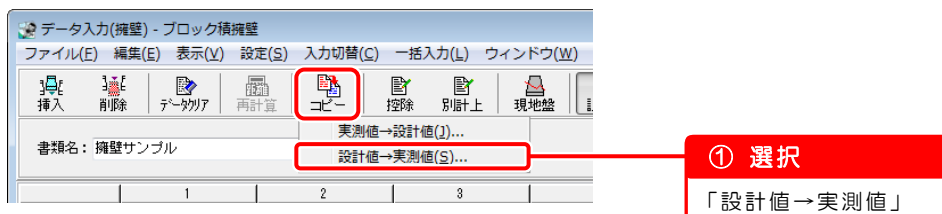


## 6-3 実測値データの入力

実測値データを入力します。

### 1 設計値データを複写して実測値データを作成します

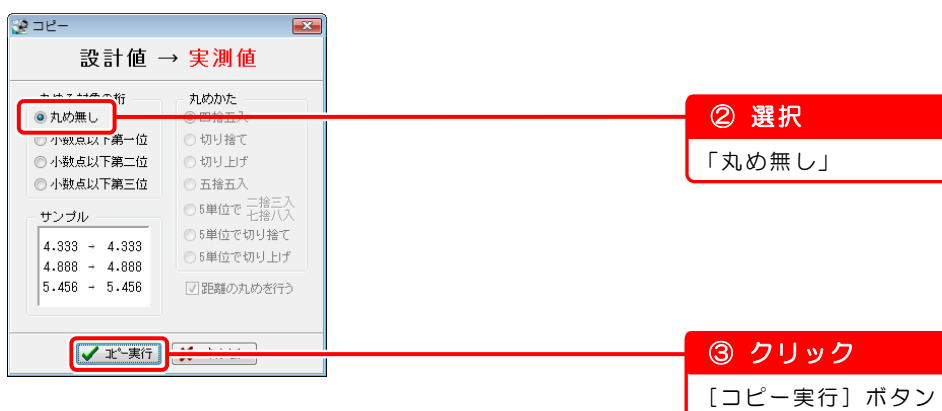
1) [コピー] ボタンをクリックし、[設計値→実測値] を選択します。



2) コピー画面が表示されます。

※基本操作マニュアルでは、「丸める桁」のみ設定します。

設定を変更している場合は、以下の画面のとおりに設定し直してください。



3) 確認メッセージが表示されます。



4) [設計値] ボタンをクリックし、実測値モードの画面を表示します。



## 2 直高の実測値データを入力します

以下のデータを入力します。

NO.	1		2		3	
直高	3.04	5.03	5.03	5.03	5.03	5.03

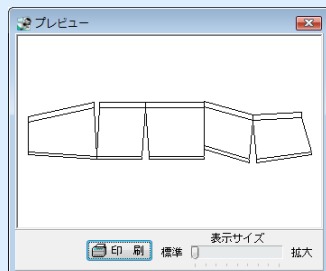
NO.	4		5	
直高	4.02	4.02	4.02	3.52

入力後、データ入力（擁壁）画面・プレビュー画面はこのようになります

	1	2	3	4	5
始点側測点名	NO.5 ~	NO.5+7 ~	NO.5+12 ~	NO.5+18 ~	NO.6+3 ~
終点側測点名	NO.5+7	NO.5+12	NO.5+18	NO.6+3	NO.6+9
摘要					
天端側距離		6.700	4.700	6.000	5.000
基礎側距離		7.000	4.600	5.600	4.600
天端側開き幅			0.600		
基礎側開き幅				0.800	
基礎底面高	125.000	124.500	124.500	124.500	125.600
天端幅	3.500	3.500	3.500	3.500	3.500
直高	3.040	5.030	5.030	5.030	4.020
勾配	1:0.000	1:0.000	1:0.000	1:0.000	1:0.000
法長	3.399	5.624	5.624	5.624	4.494
基礎1の厚み	0.300	0.300	0.300	0.300	0.300

	面積計	控除面積	別計上面積	合計面積
天端幅面積	13.700			13.700
法面の面積	133.583			133.583
基礎1の面積	8.220			8.220
総面積	155.503			155.503

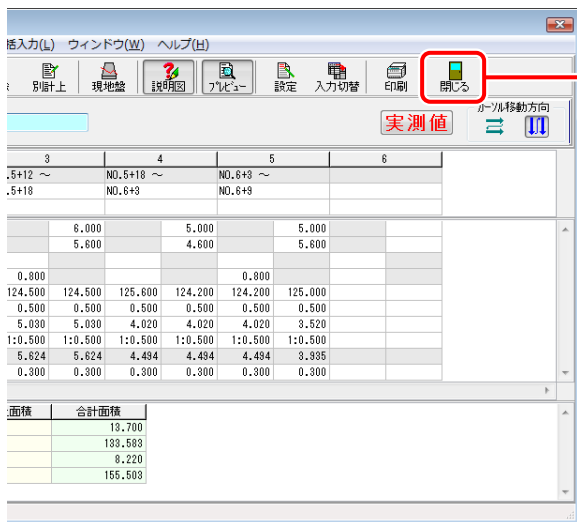


## 6-4 擁壁データ入力の終了

擁壁データの入力を終了します。

### データ入力（擁壁）画面を終了します

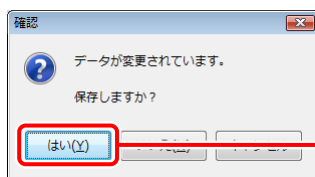
1) データ入力（擁壁）画面を閉じます。



① クリック

「閉じる」ボタン

2) 確認メッセージが表示されます。



② クリック

「はい」ボタン

データ入力（擁壁）画面が終了し、出来形展開図作成画面が表示されます。

以上で「第6章 擁壁データの入力」は終了です。

引き続き「第7章 『修飾 CAD』で図面作成（30 ページ）」にお進みください。

オプションソフト『A 納図 [A-NOTE]』で図面を作成する場合は、『A 納図 [A-NOTE]』のヘルプをご覧ください。

## 第7章

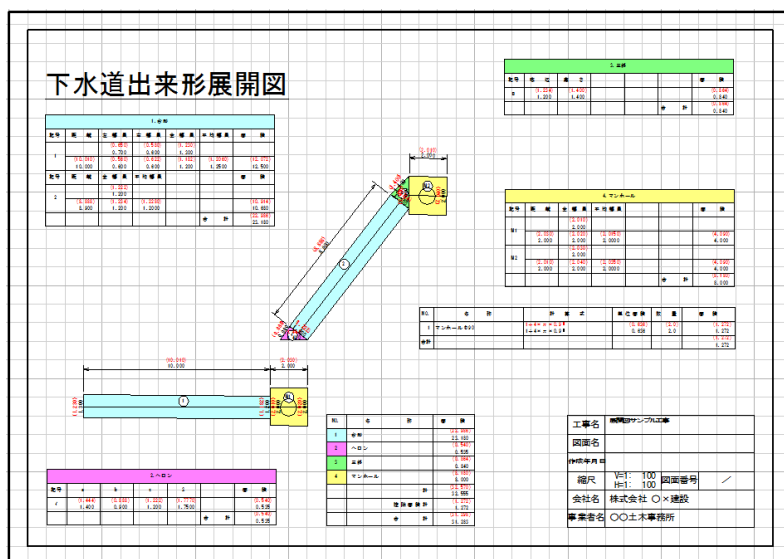
# 『修飾CAD』で図面作成

各データの入力で作成した展開図、および計算書を『修飾CAD』を使って取り込み、図面を作成します。

---

7-1	『修飾CAD』の起動	31
7-2	展開図の取り込み	33
7-3	タイトル枠の取り込み	40
7-4	図面タイトルの描画	42
7-5	図面の保存	46

以下のような図面を作成します。



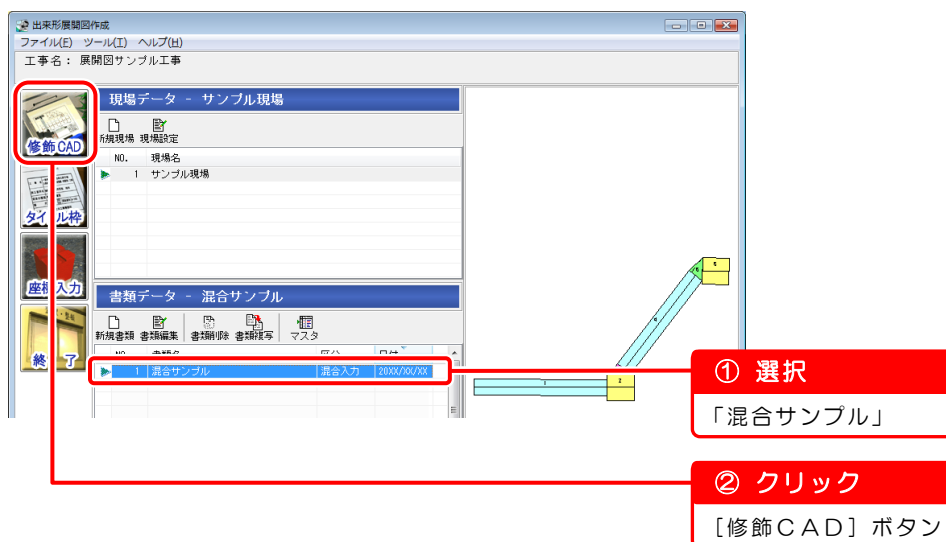
⇒『修飾CAD』で図面を作成する前に、「図面（展開図パーツ）を微調整する場合」（60 ページ）  
※「混合」「ヘロン」でデータ入力した場合のみ



## 『修飾CAD』を起動します

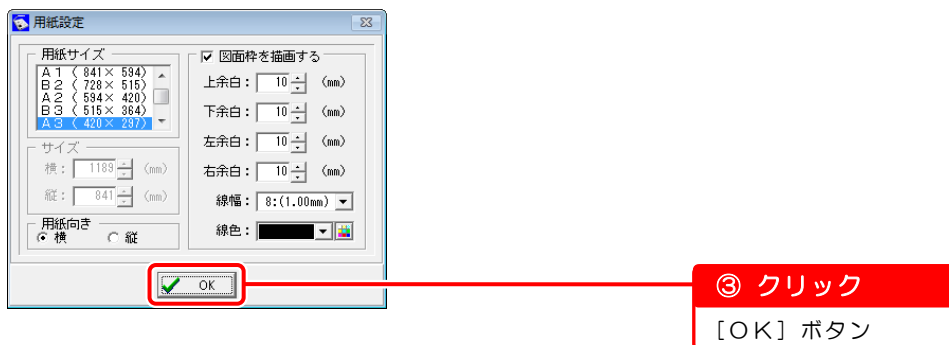
1) 出来形展開図作成画面の〔修飾CAD〕ボタンをクリックします。

※基本操作マニュアルでは、混合の計算書を使用します。



2) 『修飾CAD』が起動し、用紙設定画面が表示されます。

基本操作マニュアルでは設定を変更せずに進みます。

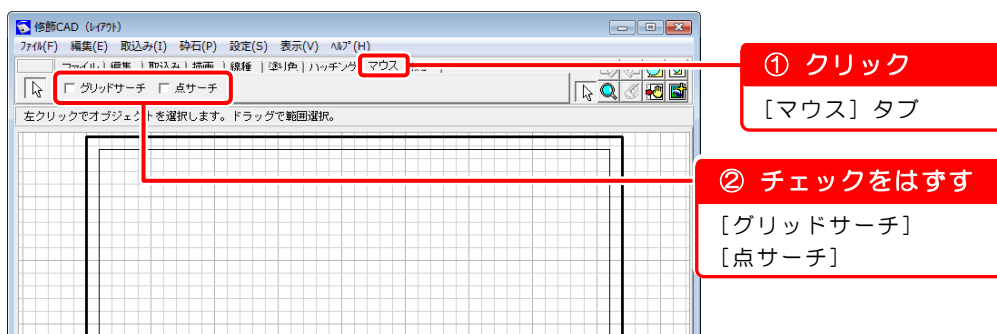


## 7-2 展開図の取り込み

混合データ入力で作成した展開図を取り込みます。

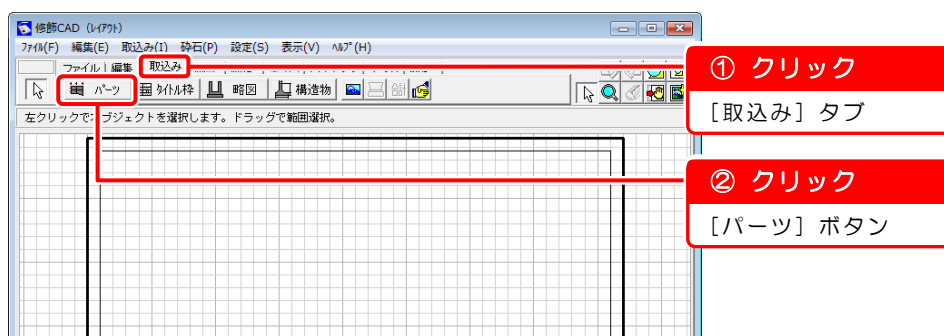
### 1 グリッドサーチと点サーチの設定を無効にします

展開図を取り込む際に、グリッドや要素の点・交点を関係なく配置するために、グリッドサーチと点サーチの設定を無効にします。



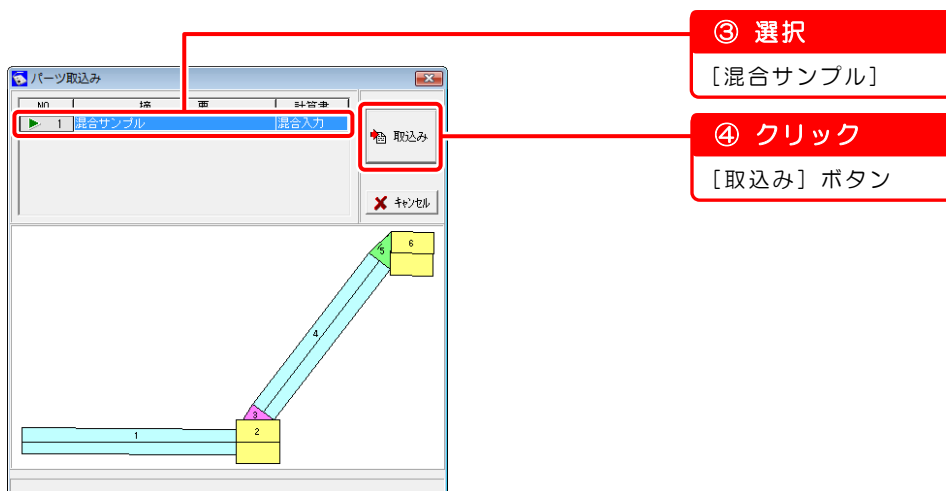
### 2 展開図の取り込み設定をします

1) [取込み] タブをクリックし、[パーツ] ボタンをクリックします。



2) パーツ取込み画面が表示されます。

※基本操作マニュアルでは、混合データを取り込みます。



3) 混合入力画面が表示されます。

各タブで設定します。

※各計算書の種類により、タブの名称・設定が異なります。

各計算書の設定の詳細は、『修飾CAD』のヘルプをご覧ください。

#### [共通設定] タブ



## 「展開図設定」タブ

⑨ クリック

「展開図設定」タブ

⑩ チェックをはずす

「縦横同じ縮尺」

⑪ クリック

「用紙に合わせる」

## 「計算書設定」タブ

⑫ クリック

「計算書設定」タブ

⑬ チェックを付ける

「計算式を描画  
(控除面積計算書)」

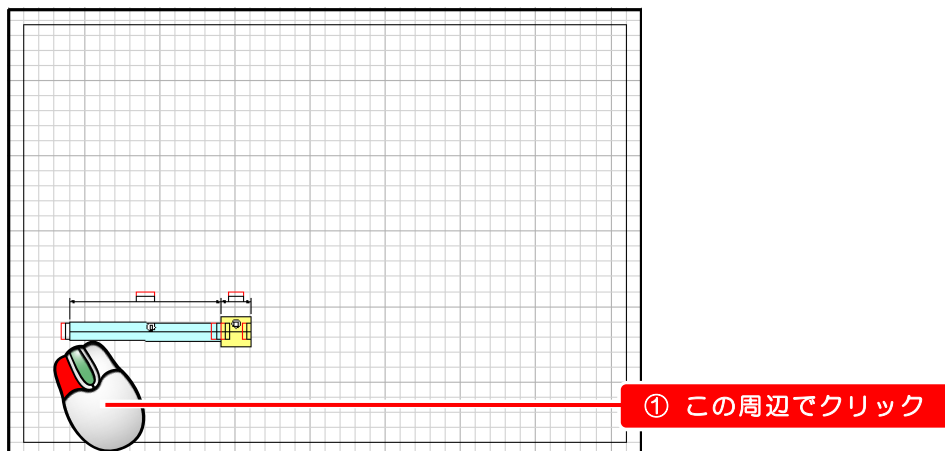
⑭ クリック

「OK」ボタン

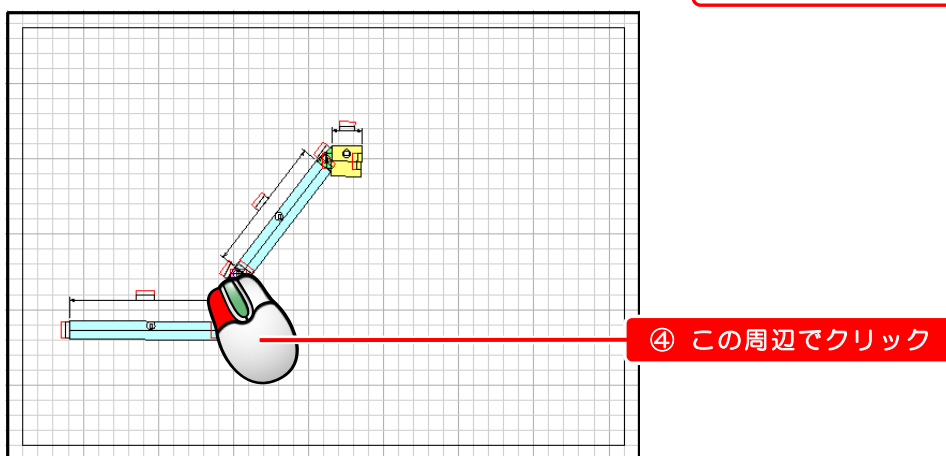
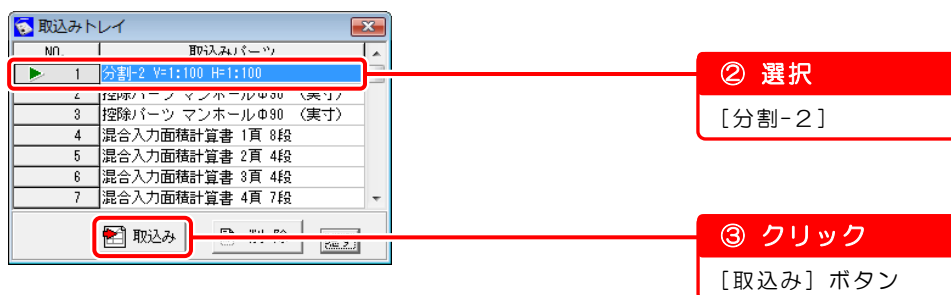
### 3 【下水道 1】【分割-2】の展開図を配置します

1) 修飾CAD画面に図が表示されます。

カーソルに合わせて図を移動し、クリックで配置を確定します。



2) 取込みトレイ画面で【分割-2】の展開図を取り込み、配置します。

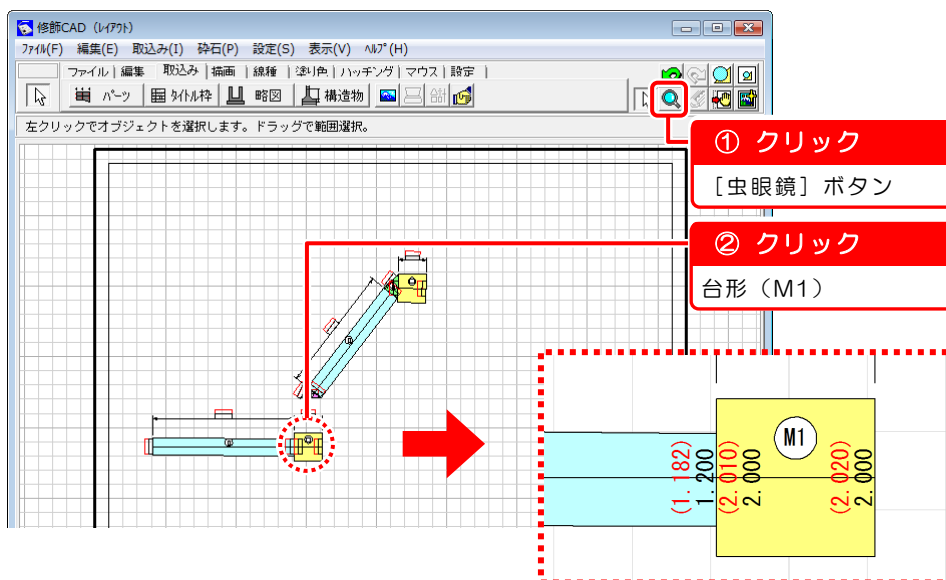


## 4 「控除パーツ マンホール」の展開図を配置します

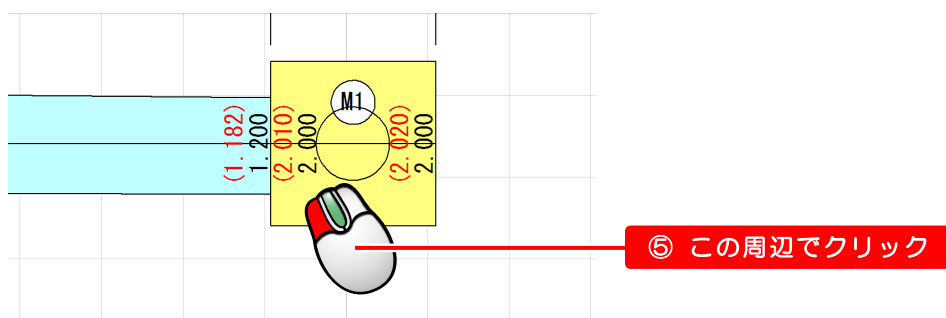
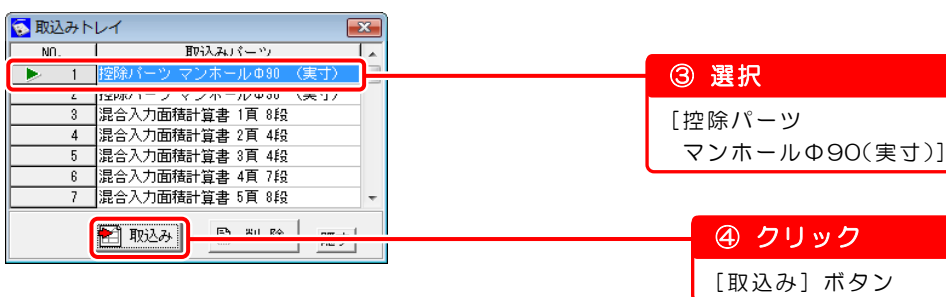
1) 「控除パーツ マンホール」(M1)を取り込みます。

マンホールを描きやすくするため、台形(M1)を拡大表示します。

※ [虫眼鏡] ボタンは、クリックで拡大、右クリックで縮小します。

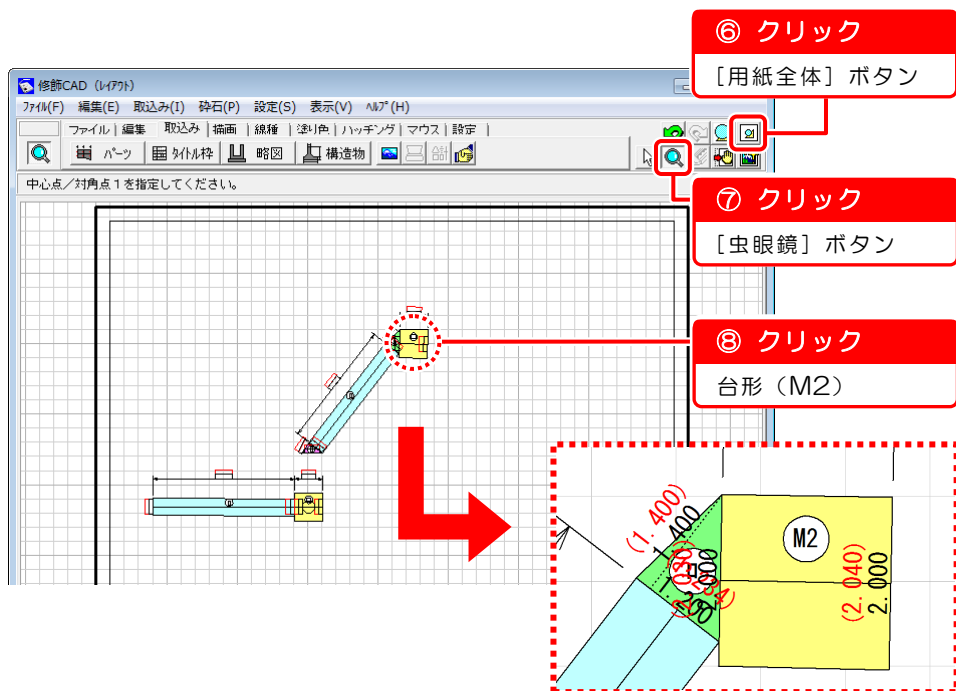


2) 取込みトレイ画面で「控除パーツ マンホールφ90 (実寸)」の展開図を取り込み、配置します。



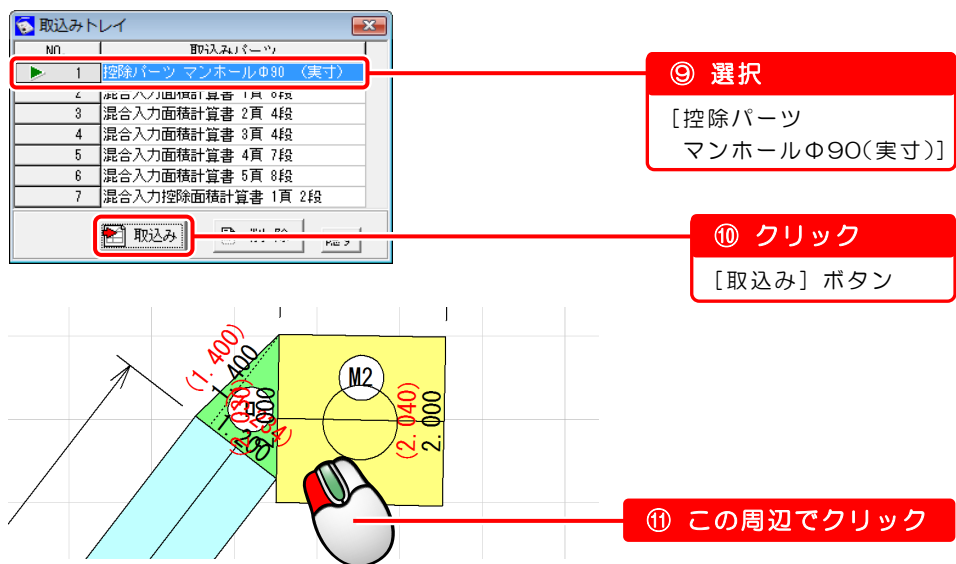
3) [控除パーツ マンホール] (M2) を取り込みます。

マンホールを描きやすくするため、用紙全体を表示してから台形 (M2) を拡大表示します。



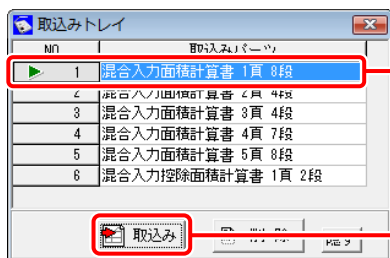
4) [控除パーツ マンホール] (M2) を取り込みます。

取込みトレイ画面で [控除パーツ マンホールΦ90 (実寸)] を取り込み、配置します。



## 5 計算書を配置します

1) [混合入力面積計算書 1 頁 8 段] を取り込み、配置します。

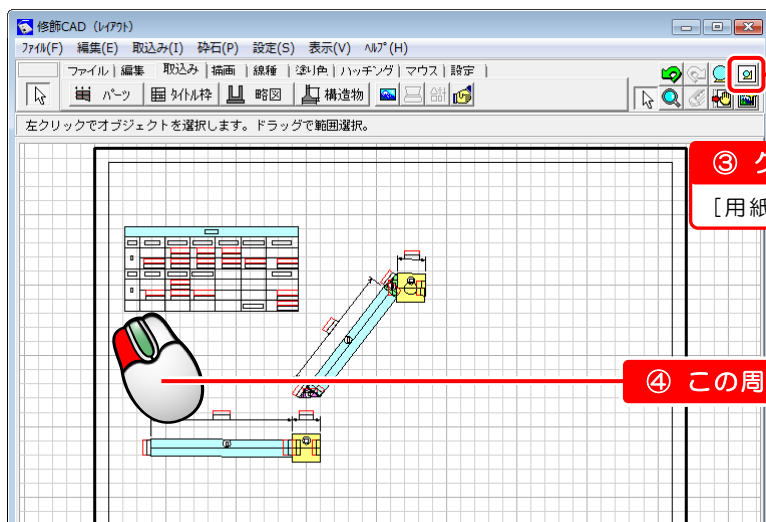


① 選択

[混合入力面積計算書  
1 頁 8 段]

② クリック

[取り込み] ボタン

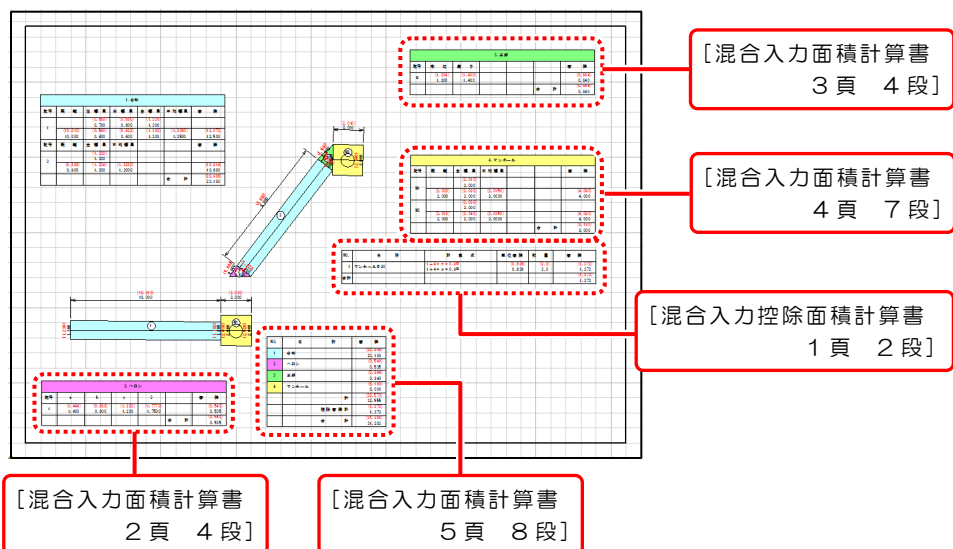


③ クリック

[用紙全体] ボタン

④ この周辺でクリック

2) 同様の手順で、すべての計算書を以下のように配置します。



[混合入力面積計算書  
3 頁 4 段]

[混合入力面積計算書  
4 頁 7 段]

[混合入力控除面積計算書  
1 頁 2 段]

[混合入力面積計算書  
2 頁 4 段]

[混合入力面積計算書  
5 頁 8 段]

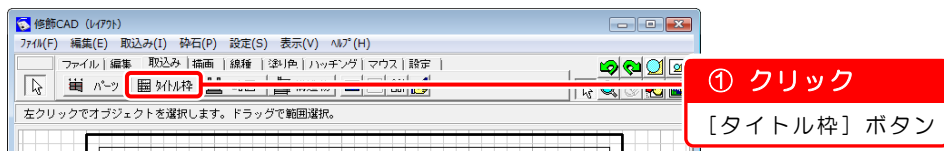


## 7-3 タイトル枠の取り込み

タイトル枠を図面に取り込みます。

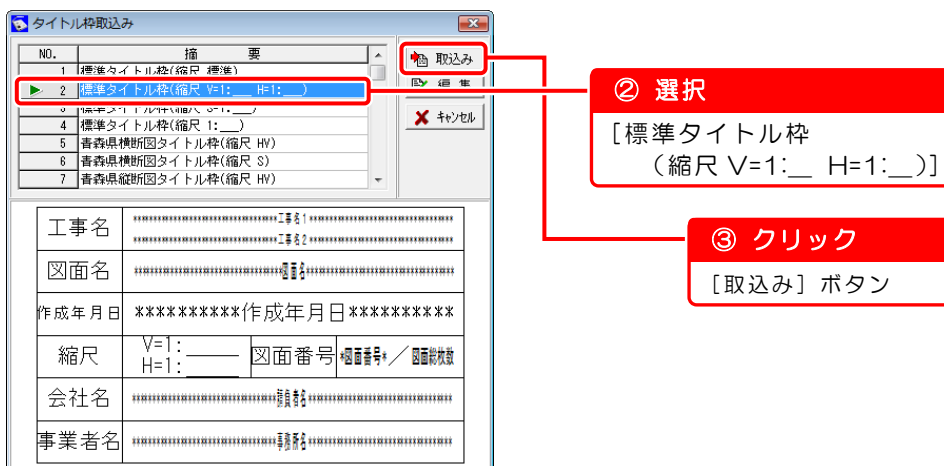
### タイトル枠を取り込みます

- 1) [タイトル枠] ボタンをクリックします。



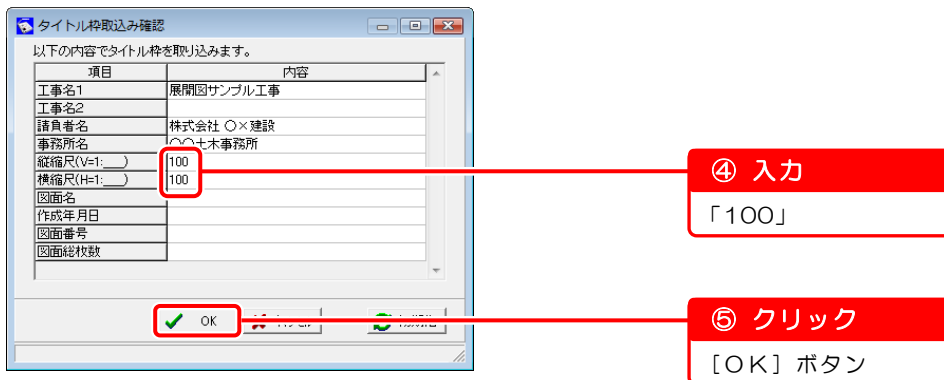
- 2) タイトル枠取込み画面が表示されます。

[標準タイトル枠 (縮尺 V=1:\_\_\_ H=1:\_\_\_)] を取り込みます。



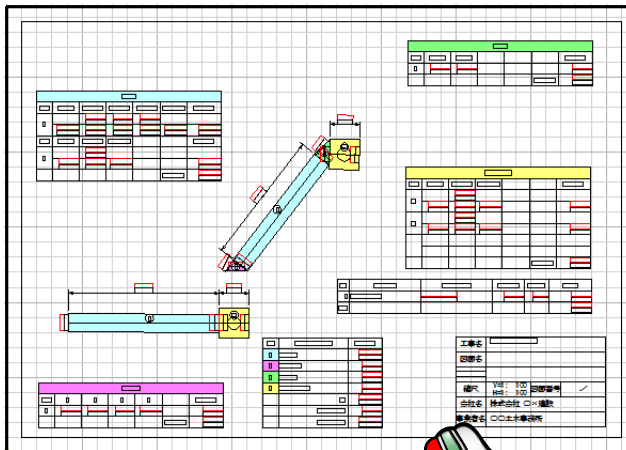
- 3) タイトル枠取込み確認画面が表示されます。

縦横の縮尺に、それぞれ「100」を入力します。



4) 修飾CAD画面に、タイトル枠が表示されます。

カーソルに合わせてタイトル枠を移動し、クリックで配置を確定します。



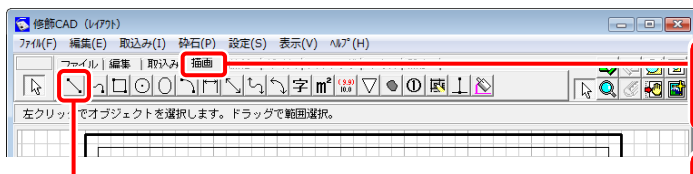
⑥ この周辺でクリック

## 7-4 図面タイトルの描画

図面タイトルを描画します。

### 1 図面タイトルの下線を描画します

1) [描画] タブをクリックし、[線] ボタンをクリックします。



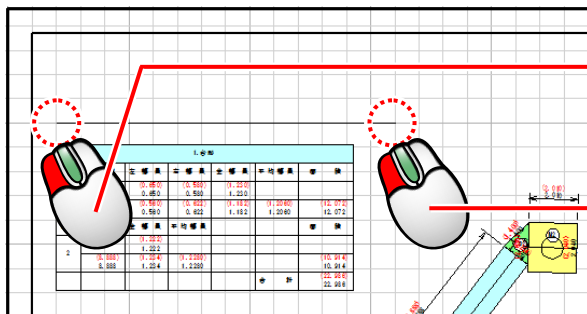
① クリック

[描画] タブ

② クリック

[線] ボタン

2) 始点と終点を指定し、図面タイトルの下線を描画します。



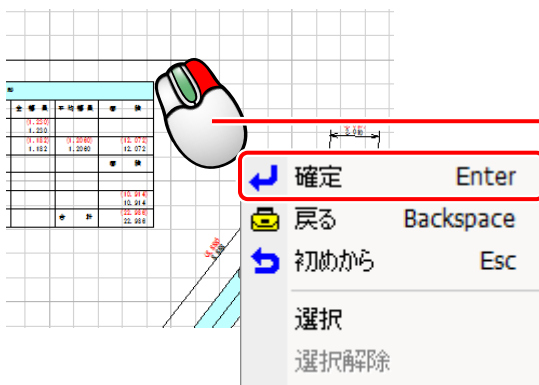
③ クリック

始点

④ クリック

終点

3) 右クリックして表示されるメニューから、[確定] を選択します。



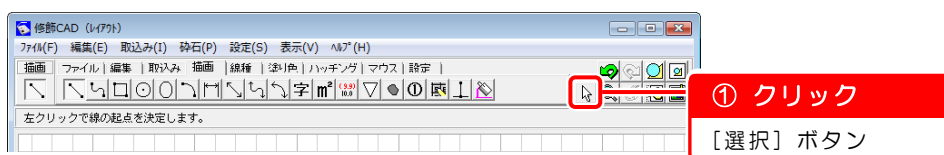
⑤ 右クリック

⑥ 選択

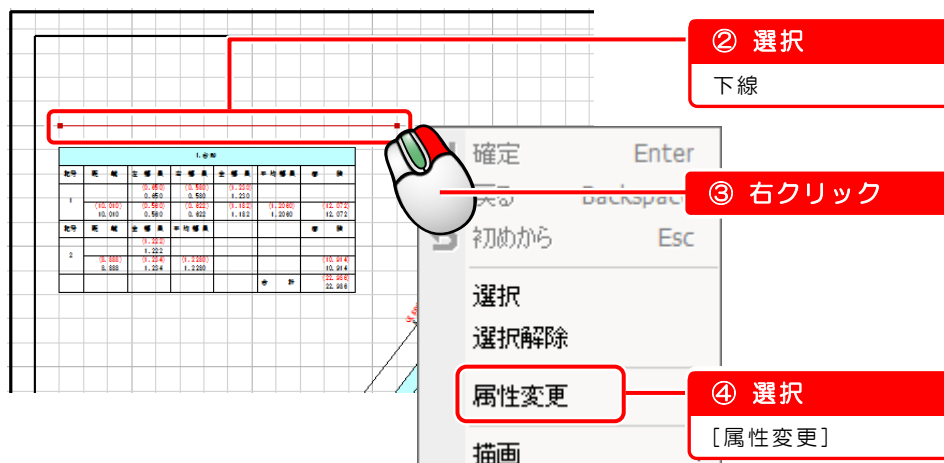
[確定]

## 2 線幅を変更します

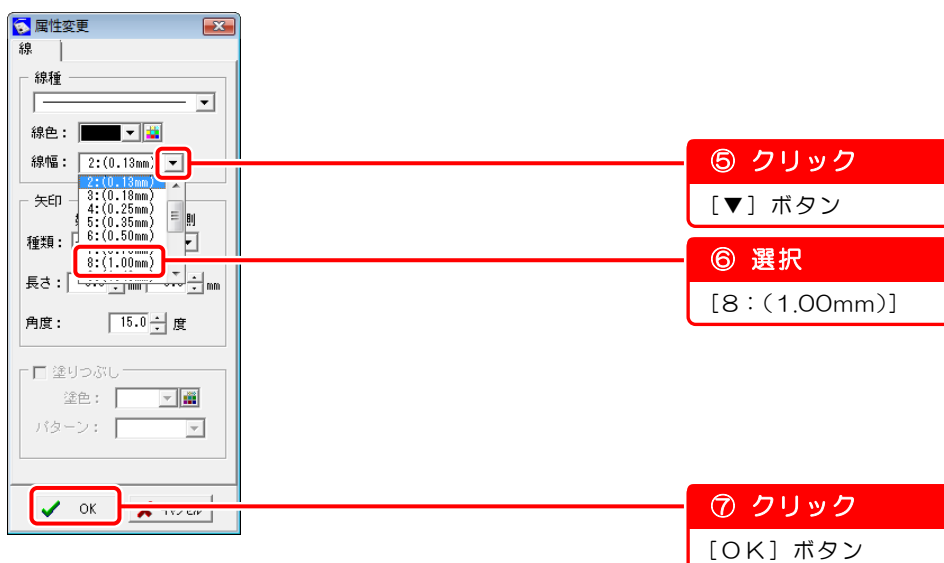
1) 画面右上の「選択」ボタンをクリックします。



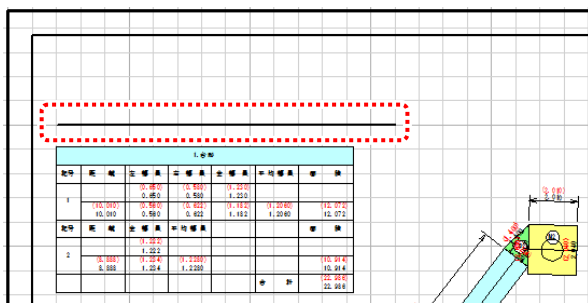
2) 描画した下線を選択し、右クリックして表示されるメニューから、「属性変更」を選択します。



3) 属性変更画面が表示されます。  
線幅を変更します。

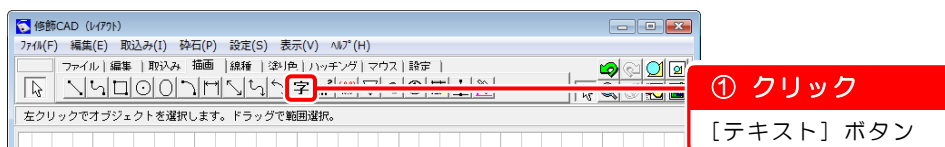


4) 線の太さが変更されます。

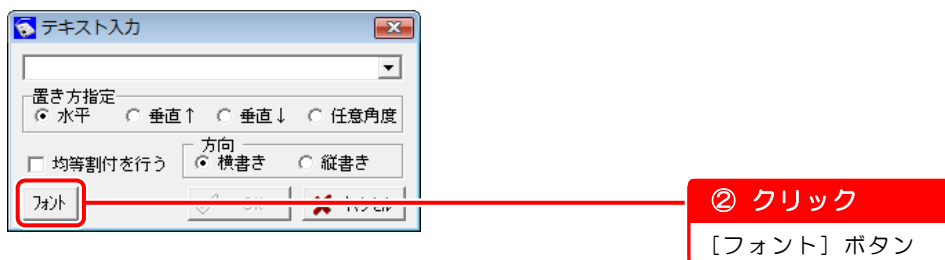


### 3 タイトル文字を描画します

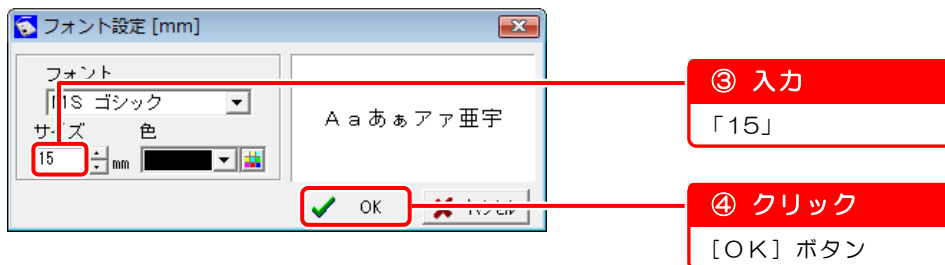
1) [テキスト] ボタンをクリックします。



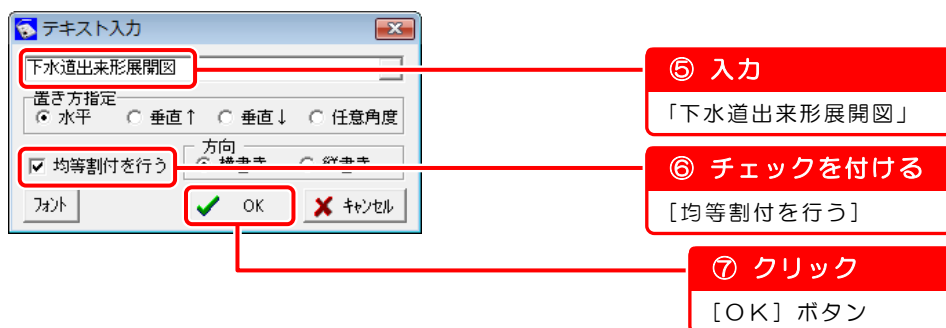
2) 図面上でクリックすると、テキスト入力画面が表示されます。



3) フォント設定画面が表示されます。  
サイズを変更します。

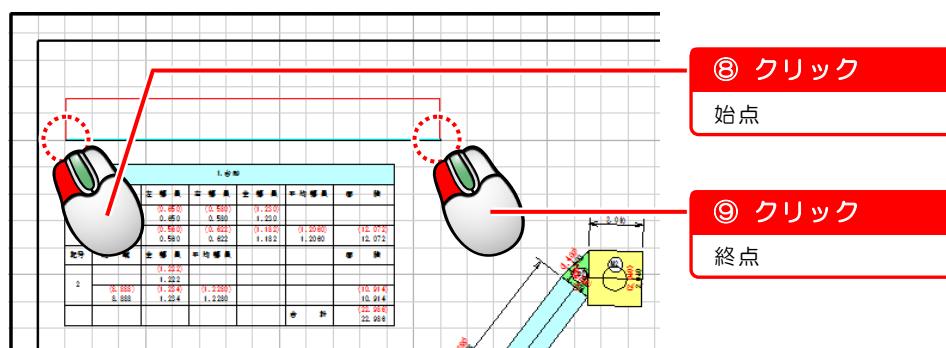


4) テキスト入力画面で、タイトル文字を入力します。

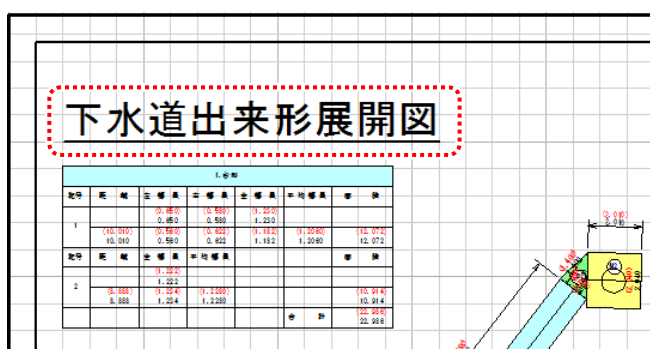


5) 赤枠がカーソルに合わせて移動します。

下線の始点と終点をクリックします。



6) 図面タイトルが描画されます。

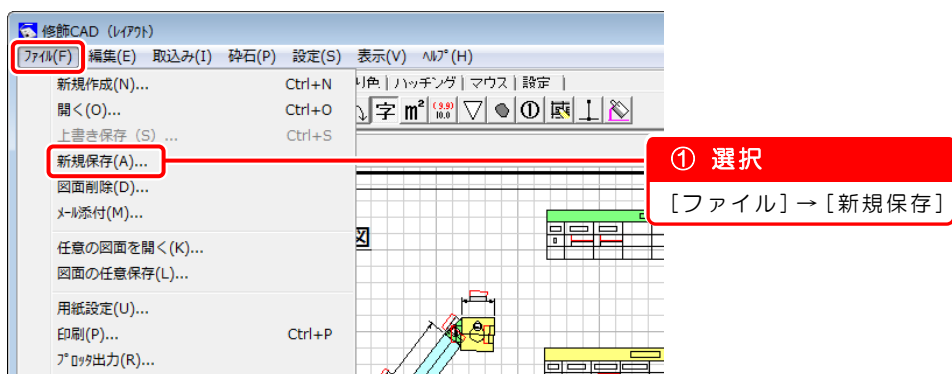


## 7-5 図面の保存

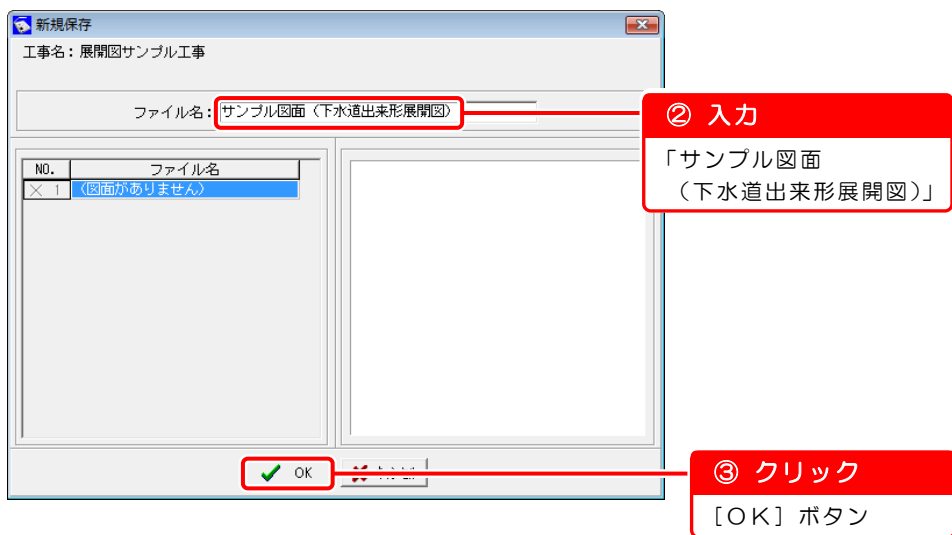
作成した図面を保存します。

### 図面を保存します

1) 新規保存します。



2) ファイル名を入力します。



以上で「第7章 『修飾CAD』で図面作成」は終了です。

## 第8章

# 『擁壁数量展開図』の入力

『擁壁数量展開図』で、施工前の設計図面の作図と数量計算をし、数量計算書を作成します。

---

8-1	『擁壁数量展開図』の起動	48
8-2	断面形状の入力	49
8-3	面積の入力	50
8-4	保存	53
8-5	印刷	54



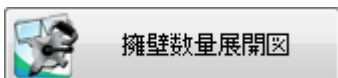
## 8-1 『擁壁数量展開図』の起動

新規に工事を作成し、『擁壁数量展開図』を起動します。

擁壁の種類を選択します。

### 1 『擁壁数量展開図作成』を起動します。

デキスパート基本部画面の「擁壁数量展開図」ボタンをクリックします。



### 2 擁壁の種類を選択します

擁壁種類設定画面が表示されます。

基本操作マニュアルでは、以下の擁壁の種類を選択します。

The screenshot shows the '擁壁種類設定' (Retaining Wall Type Setting) dialog box. It has two main sections: '擁壁名を入力してください' (Please enter the retaining wall name) and '擁壁の種類を選択してください' (Please select the retaining wall type). In the first section, '擁壁数量サンプル' (Retaining Wall Quantity Sample) is entered. In the second section, '重力式擁壁' (Gravity Retaining Wall) is selected. A list of options is shown, with '砕石あり1' (Gravel 1) selected. Below the list is a diagram of a retaining wall with dimensions labeled. At the bottom, the 'OK' button is highlighted.

① 入力  
「擁壁数量サンプル」

② 選択  
[重力式擁壁]

③ 選択  
[砕石あり 1]

④ クリック  
[OK] ボタン

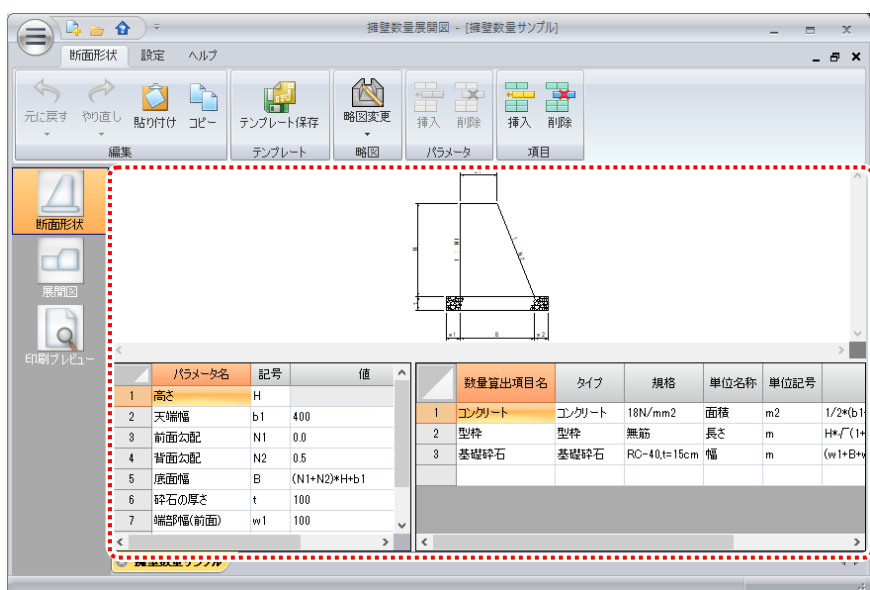
NO.	名称	記号
1	高さ	H
2	天端幅	b1
3	前面勾配	N1
4	背面勾配	N2
5	底面幅	B
6	砕石の厚さ	t
7	端部幅(前面)	w1
8	端部幅(背面)	w2

## 8-2 断面形状の入力

現場の形状に合わせて、パラメータの変更をします。  
計算式や項目名など、自由に変更できます。

### 断面形状画面が表示されます

選択した擁壁の種類のデータが取り込まれます。  
基本操作マニュアルでは変更せずに進みます。

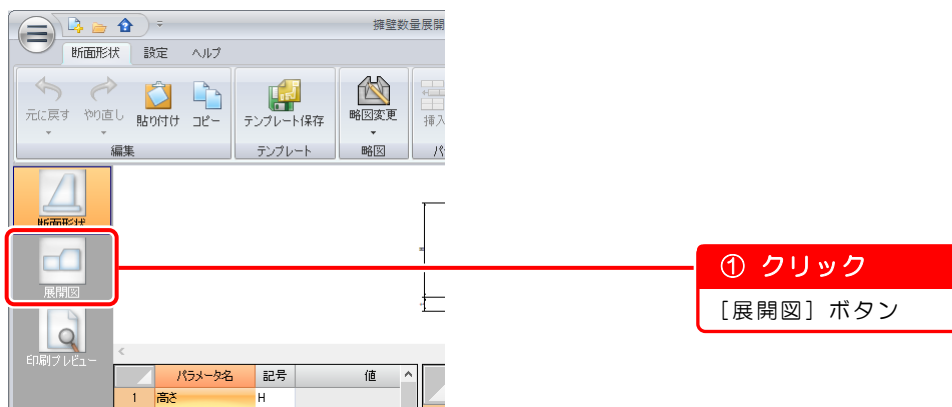


## 8-3 面積の入力

展開図を入力します。

### 1 測点名・距離・直高を入力します

1) [展開図] ボタンをクリックします。



2) 展開図入力欄に以下のデータを入力します。

距離と直高を入力すると、形状が自動で描画されます。

※ [測点名] 欄を選択すると、「NO.」が自動で表示されます。

② 入力  
下表のデータ

	測点名	距離	直高
1			0.3
2	NO.1	8	1.5
3		15.6	1.5
4		0	1.1
5	NO.2	4.4	1.1
6		5.3	0.3



## ポイント

### 標高を利用した入力について

1) [天端側標高]と[基礎側標高]を入力します。

※基準欄の設定は無効になります。

	測点名	距離(m)	直高(m)	天端側標高(m)	基礎側標高(m)	基準
1			0.30	10.80	10.50	
2	NO.1	8.00	1.50	12.00	10.50	基礎側
3		15.60	1.50	12.00	10.50	基礎側

	測点名	距離	天端側標高	基礎側標高
1			10.8	10.5
2	NO.1	8	12	10.5
3		15.6	12	10.5

2) [直高]と標高の入力も可能です。

ここでは[直高]と[天端側標高]で説明します。

	測点名	距離(m)	直高(m)	天端側標高(m)	基礎側標高(m)	基準
1			0.30	10.80	10.50	
2	NO.1	8.00	1.50	12.00	10.50	基礎側
3		15.60	1.50	12.00	10.50	基礎側
4		0.00	1.10	12.00	10.90	基礎側
5	NO.2	4.40	1.10	12.00	10.90	基礎側
6		5.30	0.30	12.00	11.70	基礎側

	測点名	距離	直高	天端側標高
4		0	1.1	12
5	NO.2	4.4	1.1	12
6		5.3	0.3	12

## 2 描画基準を切り替えます

1) 以下の描画基準を[天端側]に切り替えます。

	測点名	距離(m)	直高(m)	天端側標高(m)	基礎側標高(m)	基準
1			0.30			
2	NO.1	8.00	1.50			基礎側
3		15.60	1.50			基礎側
4		0.00	1.10			基礎側
5	NO.2	4.40	1.10			基礎側
6		5.30	0.30			基礎側

① ダブルクリック

[基礎側]

2) 表示されるリストから[天端側]を選択します。

距(m)	基礎側標高(m)	基準
		基礎側
		基礎側
		基礎側
		天端側
		天端側
		天端側

② クリック  
[▼]ボタン

③ 選択  
[天端側]

3) 同様の手順で、以下のように描画基準を切り替えます。

	測点名	距離(m)	直高(m)	天端側標高(m)	基礎側標高(m)	基準
1			0.30			
2	NO.1	8.00	1.50			基礎側
3		15.60	1.50			基礎側
4		0.00	1.10			天端側
5	NO.2	4.40	1.10			天端側
6		5.30	0.30			天端側

変更前

[基礎側]：台形の下底（基礎面）が水平に描画されます。

変更後

[天端側]：台形の上底（天端面）が水平に描画されます。

## 8-4 保存

作成したデータを保存します。

### データを保存します

1) 名前を付けて保存します。



2) ファイル名を入力します。

※入力するファイル名は、帳票に表示されるタイトルになります。



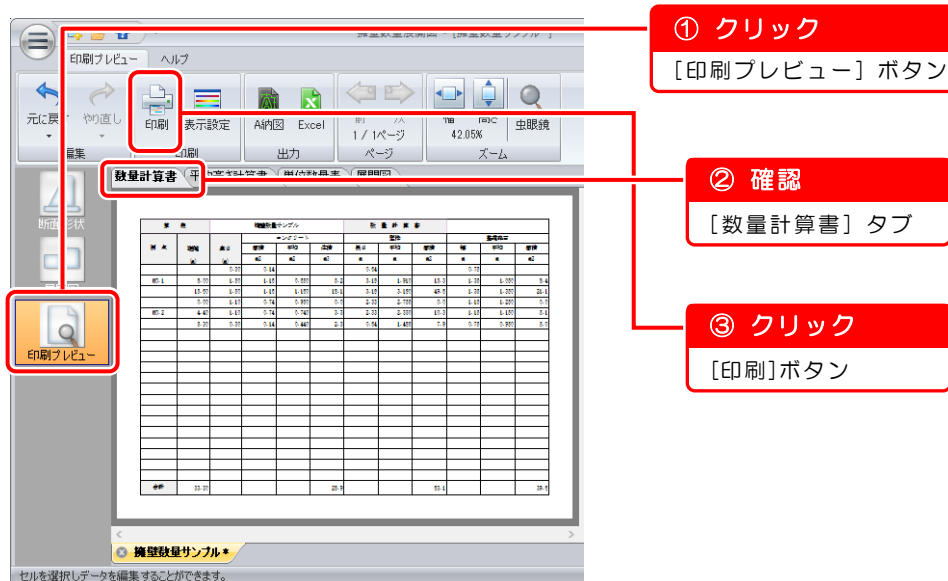
## 8-5 印刷

形状を入力し、作成した各帳票を印刷します。

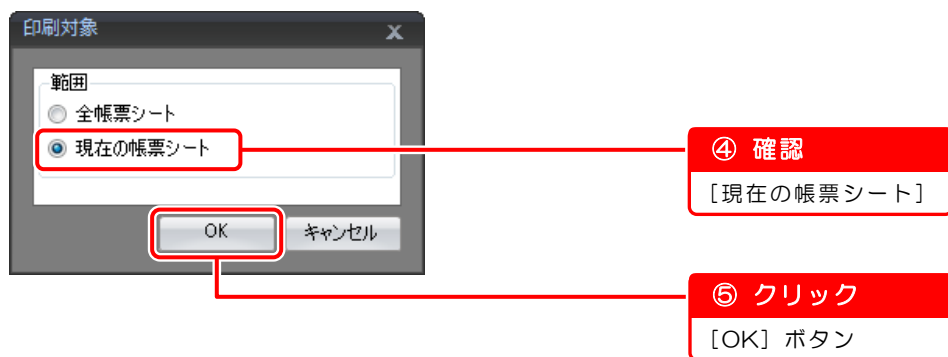
### 印刷する帳票シートを選択し、印刷します

1) [印刷プレビュー] ボタンをクリックし、印刷する帳票シートタブに切り替えます。

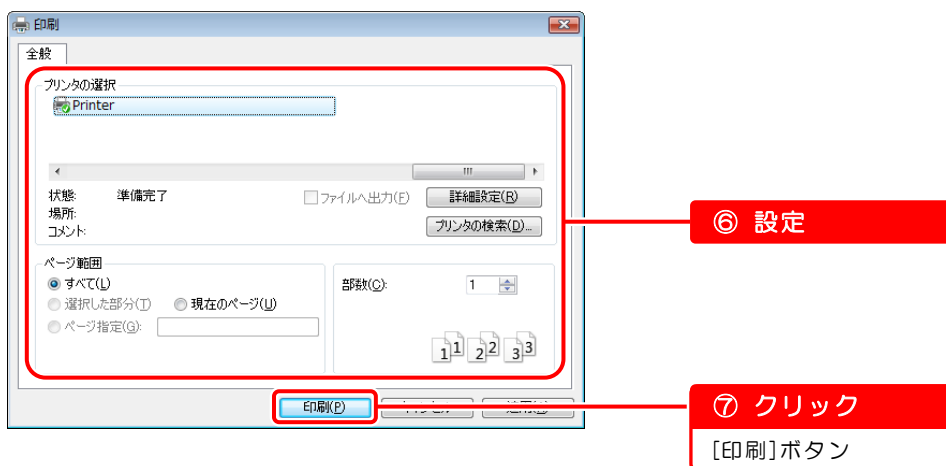
基本操作マニュアルでは「数量計算書」を印刷します。



2) 印刷対象画面が表示されるので、[現在の帳票シート] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

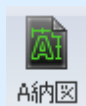


- 3) 印刷画面が表示されるので、プリンタ・ページ範囲・部数などを設定し、[印刷] ボタンをクリックします。



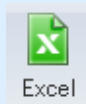
#### 出力可能なファイルについて

以下のファイル形式でも出力できます。



A納図

・・・オプションソフト『A 納図[A-NOTE]』へ転送します。



Excel

・・・「Excel」形式で保存します。

以上で「出来形展開図作成/擁壁数量展開図 基本操作マニュアル」は終了です。  
その他の機能については「ヘルプ」をご覧ください。



## 第9章

# 補足集

基本操作マニュアルの流れの中での[こんなときは]をまとめました。

- 
- 接続する辺を変更する場合 . . . . . 57
  - 座標を一つずつ選択して作成する場合 . . 59
  - 図面(展開図パーツ)を微調整する場合 . . 60

## 9-1 こんなときは

困ったときの操作や説明のヒントをまとめました。

### こんなときは

#### ■接続する辺を変更する場合

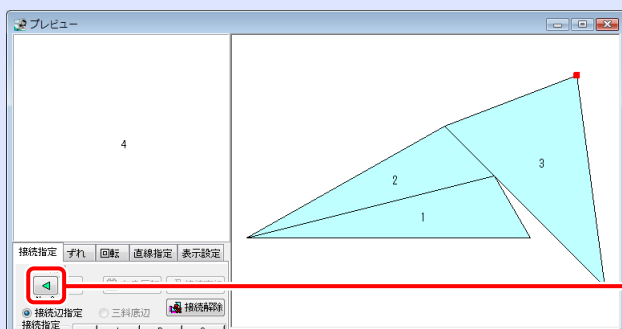
(該当箇所 ⇒ 別冊「基本操作マニュアル1」46ページ)

計算書描画設定画面の[出力設定]タブで接続辺初期値を設定している場合、プレビュー画面で接続する辺を選択しないと、自動で接続辺初期値に設定した辺に接続されます。

以下の手順で接続する辺を変更してください。

※ここでは、「NO.3」の三角形の接続辺を変更します。

1) 変更する三角形を選択します。

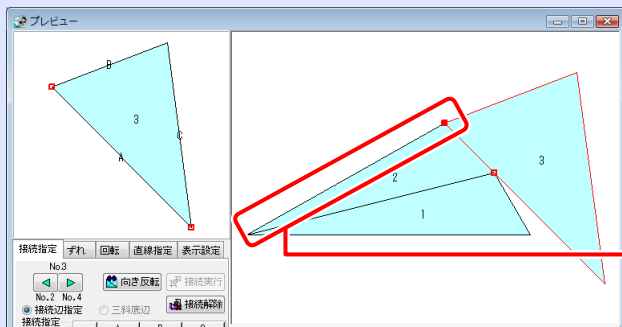


① クリック

ボタン

2) 任意の三角形が選択されました。

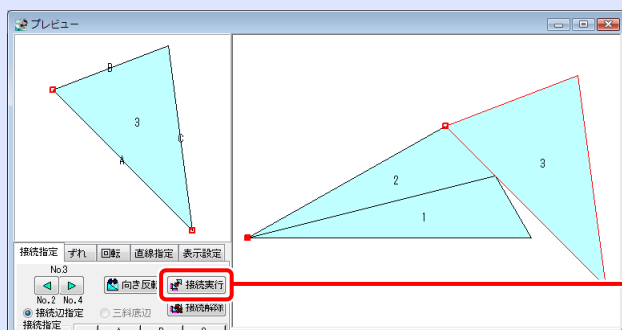
接続する辺を選択します。



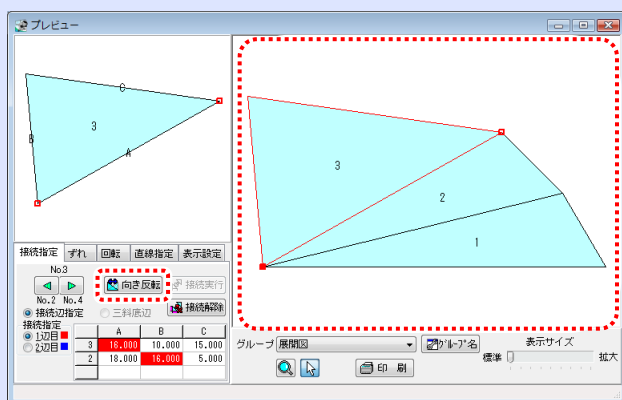
② 選択

接続する辺

3) 選択した辺と接続します。



4) 接続する辺が変更されました。



※三角形の向きを変更する場合は、[向き反転] ボタンをクリックしてください。

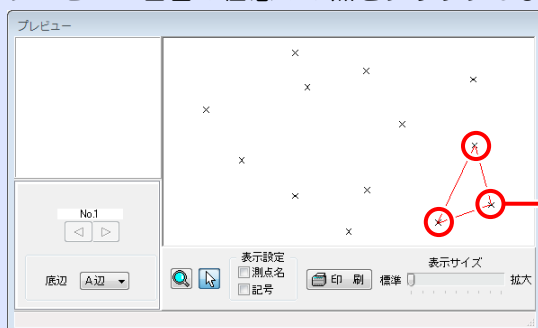
## ■座標を一つずつ選択して作成する場合

(該当箇所 ⇒ 14 ページ)

プレビュー画面上、または座標選択画面で座標を3点選択することで、面積を計算する三角形を一つずつ作成することができます。

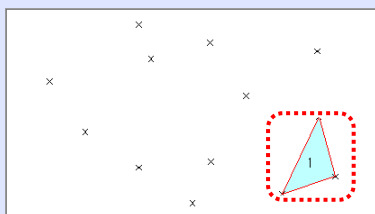
### 【プレビュー画面上で作成】

1) プレビュー画面の任意の3点をクリックします。



クリック  
任意の3点

2) 任意の三角形が作成されました。



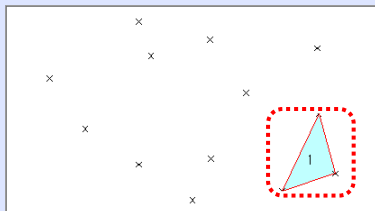
### 【座標選択画面で作成】

1) 座標選択画面で任意の3点を選択します。



選択  
任意の3点

2) 任意の三角形が作成されました。



## ■図面(展開図パーツ)を微調整する場合

(該当箇所 ⇒ 31 ページ)

『修飾CAD』で図面を作成する前に、『出来形展開図作成』で入力した数値を変更せずに図面(展開図パーツ)を微調整することができます。

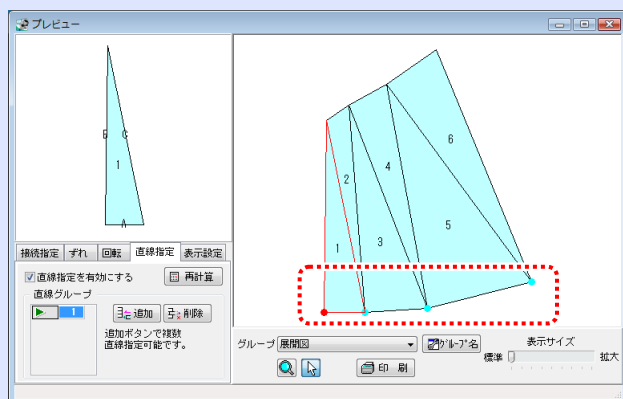
※「混合」「ヘロン」でデータ入力した場合のみ

### 【プレビュー画面の「直線指定」タブ】

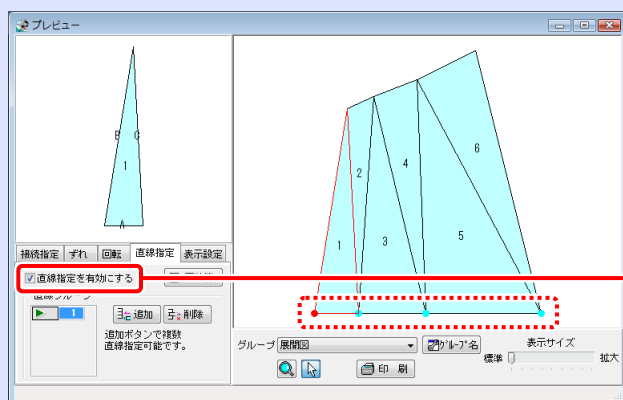
接続した複数の辺を、強制的に直線化します。

※直線化しても、辺長や面積などの数値データは変更されません。

直線化する辺の端点をクリックすると、始点に赤い丸印が、変化点に水色の丸印が表示され、選択された状態となります。



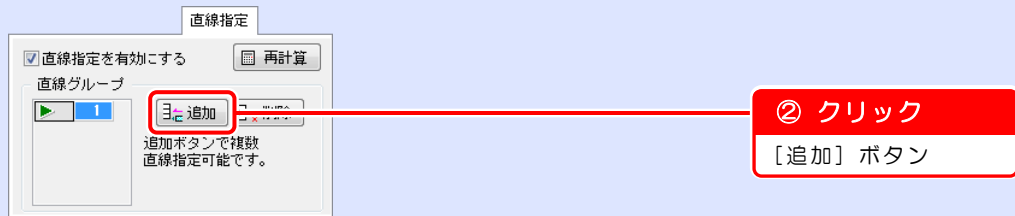
「直線指定を有効にする」にチェックを付けると、クリックした箇所が直線化されます。



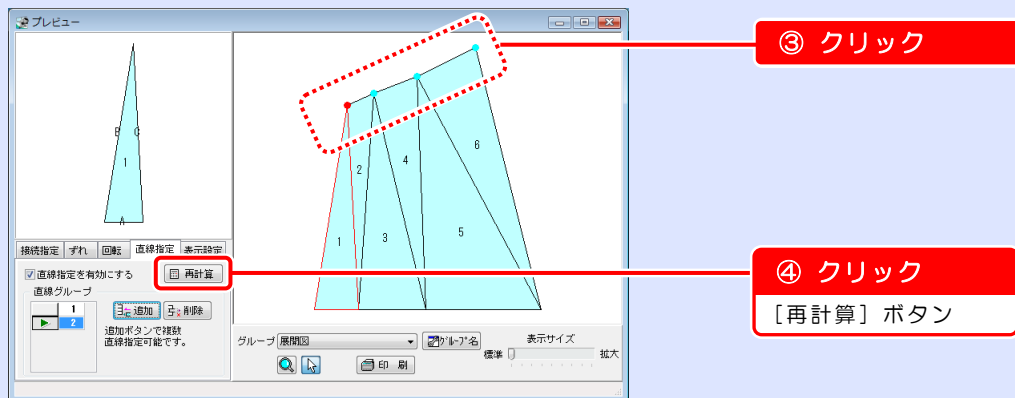
① チェックを付ける

「直線指定を有効にする」

直線化する辺が複数ある場合は「追加」ボタンをクリックし、グループを追加します。  
追加したグループを削除する場合は、「削除」ボタンをクリックしてください。

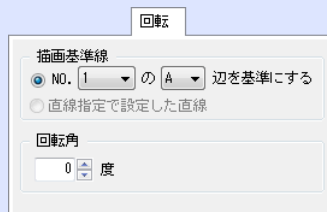


直線化する辺の端点をクリックし、「再計算」ボタンをクリックしてください。



## 【プレビュー画面の「回転」タブ】

展開図全体を回転します。



### ■ 描画基準線

どの辺を基準に回転をさせるかを設定します。

ドロップダウンボタンをクリックし、表示される一覧から任意の NO.と辺を選択してください。

### ■ 回転角

回転角度を設定します。

任意の数値を直接入力、またはアップダウンボタンをクリックして設定します。

## ① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

### 「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにある  
ショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

KENTEM サポート

DEKISPART  
デキスパート<sup>®</sup>

出来形展開図作成  
擁壁数量展開図 基本操作マニュアル 2

2023 年 6 月 27 日 (386・106-1)

発行所 株式会社 建設システム  
〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1  
TEL 0570-200-787 FAX 0545-23-2601